

---

# 城南中学校受水槽更新工事

甲府市 教育部 教育総室 教育施設課

---

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
－	図面タイトル	－	E-01	電気設備工事 特記仕様書	－	M-01	機械設備 図面リスト	－
A-01	図面リスト	－	E-02	構内線路図	S=1:300	M-02	特記仕様書 (1)	－
A-02	特記仕様書 (1)	－	E-03	構内線路図 (撤去)	S=1:300	M-03	特記仕様書 (2)	－
A-03	特記仕様書 (2)	－	E-04	1階電気設備平面図	S=1:250	M-04	主要機器表	－
A-04	特記仕様書 (3)	－	E-05	ポンプ室電気設備平面図	S=1:50	M-05	案内図、配置図	S=1:1000
A-05	特記仕様書 (4)	－	E-06	R階・高架水槽廻り電気設備平面図	S=1:50、1:250	M-06	給水・消火設備系統図	－
A-06	特記仕様書 (5)	－	E-07	消火栓ポンプ室・受水槽ポンプ室平面図 (撤去)	S=1:50	M-07	受水槽廻り配管平面図	S=1: 50
A-07	特記仕様書 (6)	－				M-08	受水槽＋ポンプ室配管平面図	S=1: 50
A-08	案内図、配置図	S=1:1000				M-09	1階平面図	S=1:250
A-09	計画配置図・仮設計画図	S=1:300				M-10	2階平面図	S=1:250
A-10	受水槽平面図	S=1:300				M-11	3階平面図	S=1:250
A-11	フェンス詳細図	S=1: 20				M-12	R階・PH階平面図	S=1:250
A-12	アスファルト舗装図	S=1:300				M-13	高架水槽廻り平面図	S=1: 50
A-13	解体図 (既存配置図)	S=1:300				M-14	受水槽＋ポンプ室平面図 (参考図)	S=1: 40
A-14	解体図 (1) (受水槽)	－				M-15	受水槽＋ポンプ室立面図 (参考図)	S=1: 40
A-15	解体図 (2) (受水槽)	－				M-16	受水槽＋ ポンプ室平架台・基礎平面図 (参考図)	S=1: 40
A-16	解体図 (3) (高架水槽)	－				M-17	撤去機器表、消火栓ポンプ室撤去平面図	S=1: 50
						M-18	樹類詳細図、屋外配管埋設断面図	－
							合計 42枚 (図面タイトルも含む)	

城南中学校受水槽更新工事		工事設計図																																																										
<div>特記仕様書</div> <div>I 工事概要</div> <div>1. 工事場所</div> <div>甲府市大里町2590番地1</div> <div>2. 敷地面積</div> <div>3. 工事種目</div> <div>建築工事 受水槽基礎 鉄筋コンクリート造</div> <div>周囲フェンス</div> <div>設備工事 受水槽タンク（給排水配管共）、各種電源</div> <div>解体工事 既存受水槽、フェンス、アスファルト、U字溝、側溝、縁石ブロック、客土、植栽、高架水槽等</div> <div>4. 工事範囲</div> <div>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</div> <div>・「3. 工事種目」のうち 建築工事 の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</div> <table><tr><td>2 仮設工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr><tr><td>3 土工事</td><td></td></tr><tr><td>4 地業工事</td><td></td></tr><tr><td>5 鉄筋工事</td><td></td></tr><tr><td>6 コンクリート工事</td><td></td></tr><tr><td>7 鉄骨工事</td><td></td></tr><tr><td>8 コンクリートブロック・ALCパネル</td><td></td></tr><tr><td>・押出成形セメント板工事</td><td></td></tr><tr><td>9 防水工事</td><td></td></tr><tr><td>10 石工事</td><td></td></tr><tr><td>11 タイル工事</td><td></td></tr><tr><td>12 木工事</td><td></td></tr><tr><td>13 屋根及びとい工事</td><td></td></tr><tr><td>14 金属工事</td><td></td></tr><tr><td>15 左官工事</td><td></td></tr><tr><td>16 建具工事</td><td></td></tr><tr><td>17 カテンウチ＝ル工事</td><td></td></tr><tr><td>18 塗装工事</td><td></td></tr><tr><td>19 内装工事</td><td></td></tr><tr><td>20 ユニット及びその他の工事</td><td>周囲フェンス</td></tr></table> <div>II 建築工事仕様</div> <div>1. 共通仕様</div> <div>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「標仕」という。）による。</div> <div>解体工事については、「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。</div> <div>（以下の内容にはこの資料と重複する項目があるが特に留意すべき項目として記載される。）</div>				2 仮設工事	工事範囲すべて	3 土工事		4 地業工事		5 鉄筋工事		6 コンクリート工事		7 鉄骨工事		8 コンクリートブロック・ALCパネル		・押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		12 木工事		13 屋根及びとい工事		14 金属工事		15 左官工事		16 建具工事		17 カテンウチ＝ル工事		18 塗装工事		19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス	<div>2. 特記仕様書の表記</div> <div>(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。</div> <div>(2) 特記事項は、 ⊙印の付いたものを適用する。</div> <div>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</div> <div>○印と ⊗印の付いた場合は、共に適用する。</div> <div>(3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div> <div>(4) [G]印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。</div> <table><tr><th>章</th><th>項 目</th><th>特 記 事 項</th></tr><tr><td rowspan="6">① 一般共通事項</td><td>① 適用基準等</td><td>図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ⊙建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ⊙建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ⊙工事写真の撮り方 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (1.1.4)</td></tr><tr><td>2 適用区分</td><td>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分（・ I ・ II ・ III ・ IV ） ・積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表（ ） ※適用する (1.3.3)</td></tr><tr><td>③ 電気保安技術者</td><td></td></tr><tr><td>④ 施工条件</td><td>下記以外は現場説明書による。 (1.3.5) ・工事用車両の駐車場所 ※図示 ⊙ 場内 ・資機材置場 ※図示 ⊙ 場内 ・建設発生土仮置場 ※図示 ⊙ 場内 ・ ※図示 ・</td></tr><tr><td>⑤ 発生材の処理等</td><td>※現場説明書による ⊙ 構外搬出適切処理 (1.3.11)</td></tr><tr><td>6 環境への配慮</td><td>(1.4.1) （1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</td></tr></table>	章	項 目	特 記 事 項	① 一般共通事項	① 適用基準等	図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ⊙建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ⊙建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ⊙工事写真の撮り方 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (1.1.4)	2 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分（・ I ・ II ・ III ・ IV ） ・積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表（ ） ※適用する (1.3.3)	③ 電気保安技術者		④ 施工条件	下記以外は現場説明書による。 (1.3.5) ・工事用車両の駐車場所 ※図示 ⊙ 場内 ・資機材置場 ※図示 ⊙ 場内 ・建設発生土仮置場 ※図示 ⊙ 場内 ・ ※図示 ・	⑤ 発生材の処理等	※現場説明書による ⊙ 構外搬出適切処理 (1.3.11)	6 環境への配慮	(1.4.1) （1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
2 仮設工事	工事範囲すべて																																																											
3 土工事																																																												
4 地業工事																																																												
5 鉄筋工事																																																												
6 コンクリート工事																																																												
7 鉄骨工事																																																												
8 コンクリートブロック・ALCパネル																																																												
・押出成形セメント板工事																																																												
9 防水工事																																																												
10 石工事																																																												
11 タイル工事																																																												
12 木工事																																																												
13 屋根及びとい工事																																																												
14 金属工事																																																												
15 左官工事																																																												
16 建具工事																																																												
17 カテンウチ＝ル工事																																																												
18 塗装工事																																																												
19 内装工事																																																												
20 ユニット及びその他の工事	周囲フェンス																																																											
章	項 目	特 記 事 項																																																										
① 一般共通事項	① 適用基準等	図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ⊙建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課  本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 ⊙建築工事標準詳細図（令和4年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ⊙工事写真の撮り方 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (1.1.4)																																																										
	2 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分（・ I ・ II ・ III ・ IV ） ・積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表（ ） ※適用する (1.3.3)																																																										
	③ 電気保安技術者																																																											
	④ 施工条件	下記以外は現場説明書による。 (1.3.5) ・工事用車両の駐車場所 ※図示 ⊙ 場内 ・資機材置場 ※図示 ⊙ 場内 ・建設発生土仮置場 ※図示 ⊙ 場内 ・ ※図示 ・																																																										
	⑤ 発生材の処理等	※現場説明書による ⊙ 構外搬出適切処理 (1.3.11)																																																										
	6 環境への配慮	(1.4.1) （1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。																																																										
工 事 名 称		設計年月日																																																										
城南中学校受水槽更新工事		2023. 6																																																										
縮 尺		図 面 番 号																																																										
-		A-2																																																										

- (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
- ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

⑦ 材料の品質等

(1.4.2)

- (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
- (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
- (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
- (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関〔(一社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
- ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ③安定的な供給が可能であること。
- ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
- (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
- 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、押出し成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材、陶磁器質タイル、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、アルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラス、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、エポキシ樹脂、外装タイル張り用有機系接着剤、ポリマーセメントモルタル、

⑧ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑨ 技能士

適用工事種別は、下記の表の「防水工事・塗装工事」は適用とする。  
その他は、努力義務とする。

(1.5.2)

適用工事種類	技能検定作業
仮設工事	・とび作業
鉄筋工事	・鉄筋組立て作業
コンクリート工事	・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	・構造物鉄工作業 ・とび作業
コンクリートブロック ・ALCパネル ・押出成形セメント板工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業

10 化学物質の濃度測定

(1.5.9)

- (1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。
- (2) 測定対象室及び測定箇所は農務実験室とする。
- (3) 測定は、パッシブ型採取機器により行う。
- (4) 測定方法及び測定結果の報告は、1ヶ所とする。

11 完成時の提出図書

(1.7.1~3)(表1.7.1)

※完成図書 提出部数 ※(A3版 2つ折製本(3部)) ・ 部  
CADデータ ※提出する ・提出しない  
※保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・ 部

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

分類・規格		撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等
・カラー	※キャビネ版	外部( ) 内部( )	※2 ・	※500万画素以上
		外觀正面 (※1 ・ )	※5 ・	
	・			
・カラー四切木製パネル		外部( ) 内部( )	※2 ・	※500万画素以上
・カラー半切木製パネル		外部( ) 内部( )	※2 ・	
・電子データ		外部( ) 内部( )	※2 ・	

電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形最高画像とし、CD-Rにて提出する。

- ・建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者
- ・任意

完成写真

工事名称

城南中学校受水槽更新工事

Yoshi no S Design Office  
吉野総建築設計室

山形県 甲府市 徳和3-3-25  
TEL: 055-222-6644  
FAX: 055-222-6100  
https://yoshino-s.com  
yoshi@yoshi-no-s.com

設計年月日  
2023. 6

図面名称

特記仕様書 (2)

縮尺

図面番号

A-3



⑥ コンクリート工事（受水槽基礎図による）	6 機械式継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） H12建告第1463号に適合する性能  機械式継手の種類及び工法（ ） 鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）  品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5.5.2)  (5.5.2) (5.3.5)  (5.5.2) (5.5.2)	7 溶接継手	使用箇所 ・ 図示による（ ） H12建告第1463号に適合する性能  鉄筋相互のあき ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）  継手の工法 ・ 図示による（ ） 品質の確認方法 ・ 図示による（ ） 不良となった継手の修正方法等 ・ 図示による（ ）	(5.5.3)  (5.3.5)  (5.5.3) (5.5.3) (5.5.3)	8 各部配筋	各部配筋 ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図））	(5.3.7)	9 圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験	(5.4.9)
	1 コンクリートの 気乾単位容積質量による 種類及び強度	・ 普通コンクリート 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） <sup>1</sup> ・ 24 ・ ・	(6.2.1~4)  スランプ    適用箇所    	2 コンクリートの類別	類別 ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）	(6.2.1)						
	工事名称											
	城南中学校受水槽更新工事											
	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://seikei-y.com yao@ruby.plala.or.jp											
	設計年月日											
	2023. 6											
	図面名称											
	特記仕様書（4）											
	縮尺											
-												
図面番号												
A-5												

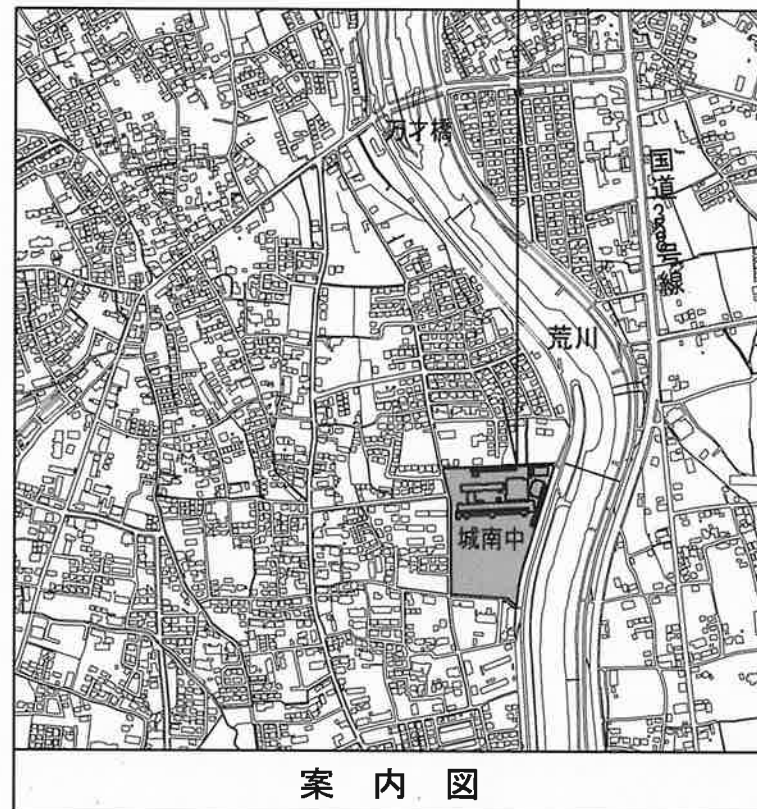
左官工事	11 無筋コンクリート	設計基準強度 ※18 (N/mm ) <sup>2</sup> スランプ ※15cm 又は 18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 <input type="checkbox"/> ・フライアッシュセメントB種 <input type="checkbox"/> 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・図示による ( )	(6.14.1) (6.14.1) (6.2.1) (6.14.1)	2 床コンクリート 直均し仕上げ	(6.2.5) (15.3.2)
	12 流動化コンクリート	適用箇所 ・図示による ( )	(6.2.1) (6.15.1)	③ セルフレベリング材 塗り	(15.4.2) (表15.4.1)
	13 ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔, 位置, 形状 ・図示による ( )	(6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) (6.8.2)	4 仕上塗材仕上げ	(15.5.2) (表15.5.1)
	14 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種 別 ・A種 ・B種 ・C種 適用箇所	(6.2.5) (6.8.3)	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上塗材の種類	
	15 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)	(6.8.2)	種類	呼び名
	16 型枠	せき板の材料及び厚さ ・合板 (※12mm ) <input type="checkbox"/> ・断熱材の兼用した型枠材の使用 ・MCR工法用シート 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( ) スリーブの材種 ※標準仕様書6.8.3(i) (2) (i) から (iv) による	(6.8.3) (6.8.3) (6.8.3) (6.8.3) (6.8.3)	防火材料	仕上げの形状及び工法等
	⑮	1 モルタル塗り	(15.2.2.5)	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W
		既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示 ) ・設けない 床目地 ・設ける (工法 ※押し目地 ) ・設けない 外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない ・防水剤		・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E
				・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS
				・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材
工 事 名 称			城南中学校受水槽更新工事	設計年月日	
山崎県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX 055-222-6100 http://sekkei-ny.com yao@rubby.plala.or.jp			吉野 聡 建築設計室	図 面 名 称	
				2023. 06	
				特記仕様書 (5)	
				縮 尺	
				図 面 番 号	
				A-6	



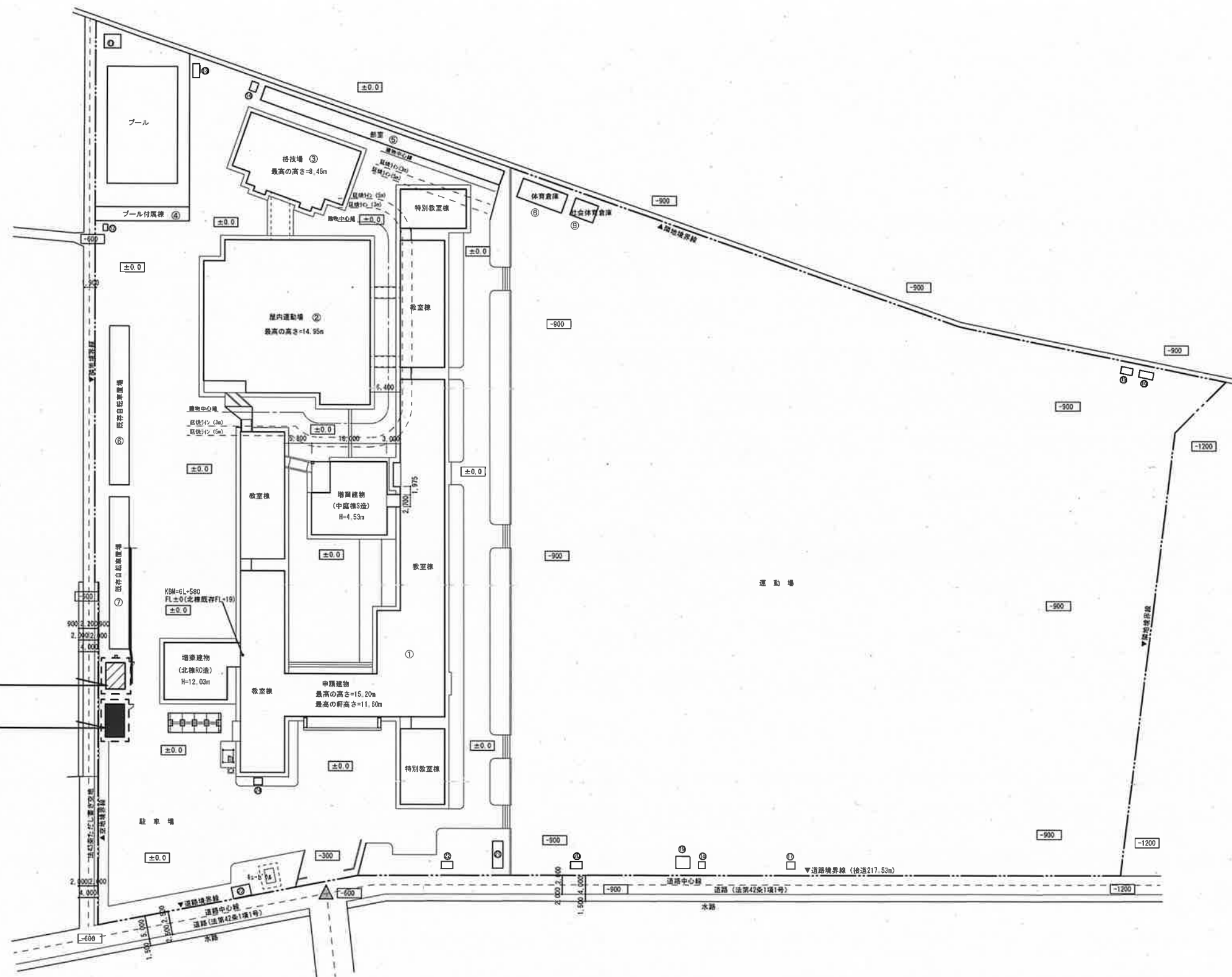
	<div>5 ALCパネルの場合の下地処理</div> <div>6 マスチック塗材塗り</div> <div>7 ロックウール吹付け</div> <div>内壁目地部の形状 ※V形目地付き</div> <div>種別 ・ A種 ・ B種 (仕上材塗り:EP-G ※B種 ・ A種)</div> <div>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</div> <div>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</div> <div>吹付け厚さ (mm) ・ 図示 ・ 25</div> <div>(15.5.4)</div> <div>(15.6.2)</div> <div>(15.8.2)</div>																																																																		
舗装工事	<div>② 1 路床</div> <div>路床の材料</div> <table><tr><th>種 別</th><th>材 料</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>◎盛土</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ◎建設汚泥から再生した処理土[G]</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>・ 凍上抑制層</td><td>・ 再生クラッシャラン[G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>・ フィルター層</td><td>・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・</td><td>・ 図示</td></tr></table> <div>路床安定処理</div> <div>・ 添加材料による安定処理</div> <div>種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種[G] ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 ( ) ・ 消石灰 ( )</div> <div>添加量 kg (目標CBR ・ 5以上 )</div> <div>・ ジオテキスタイル</div> <div>単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上</div> <div>厚さ(mm) ・ 0.5~1.0</div> <div>引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</div> <div>透水係数 ・ 1.5×10<sup>-3</sup> cm/sec以上</div> <div>試験</div> <table><tr><td>砂の粒度試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr><tr><td>路床土の支持力比 ( C B R ) 試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr><tr><td>現場 C B R 試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr><tr><td>路床締固め度の試験 (現場密度)</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr></table> <div>② 路盤</div> <div>(22.3.2,3,5) (表22.3.1)</div> <div>路盤の厚さ ・ 図示 ◎ t =200</div> <div>路盤材料 ・ 砕石 ◎再生クラッシャラン[G] ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ[G] ・ 図示</div> <div>試験</div> <div>路盤締固め度の試験 ※行う ◎行わない</div> <div>③ アスファルト舗装</div> <div>(22.4.2~6) (表22.4.1~4)</div> <div>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ◎ t =50</div> <div>材料</div> <div>アスファルト ◎再生アスファルト[G] ・ ストレートアスファルト</div> <div>骨材 ・ 道路用砕石 ◎アスファルトコンクリート再生骨材[G]</div>	種 別	材 料	厚 さ (mm)	◎盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ◎建設汚泥から再生した処理土[G]	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン[G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示	・ フィルター層	・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・ 図示	砂の粒度試験	・ 行う	・ 行わない	路床土の支持力比 ( C B R ) 試験	・ 行う	・ 行わない	現場 C B R 試験	・ 行う	・ 行わない	路床締固め度の試験 (現場密度)	・ 行う	・ 行わない	<div>4 コンクリート舗装</div> <div>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)</div> <table><tr><th>区 分</th><th>地 域</th><th>種 類</th></tr><tr><td rowspan="2">表層</td><td>◎一般地域</td><td>◎密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)</td></tr><tr><td>・ 寒冷地域</td><td>・ 密粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr></table> <div>シールコートの施工 ・ 行う ◎行わない</div> <div>試験</div> <div>アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ◎行わない</div> <div>舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.5.2~4,6) (表22.5.1~3)</div> <div>コンクリート舗装の厚さ</div> <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部 位</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>歩行者用通路</td><td>※70 ・ 図示</td></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・ 150 ・ 図示</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示</div> <div>材料</div> <div>コンクリート ・ 標準仕様書表22.5.2による</div> <div>早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない</div> <div>注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ</div> <div>目地</div> <div>種類, 間隔, 構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・ 図示</div> <div>試験</div> <div>コンクリート版厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない</div> <div>舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</div> <div>5 カラー舗装</div> <div>(22.6.2~4) (表22.6.1)</div> <table><tr><th colspan="2">種類・工法</th><th>部 位</th><th>基 層</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 加熱系</td><td>・ アスファルト混合物</td><td rowspan="2">・ 車道及び駐車場 ・ 歩行者用通路</td><td rowspan="2">・ 無し</td><td rowspan="2">・ 図示</td></tr><tr><td>・ 石油樹脂系混合物</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 常温系</td><td>・ ニート工法</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</td><td>3~5</td></tr><tr><td>・ 塗布工法</td><td>1程度以下</td></tr></table> <div>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(c)) による</div> <div>材料</div> <div>加熱系混合物に添加する材料 ・ 着色骨材 ( ) ・ 自然石 ( )</div> <div>配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量</div> <div>ニート工法及び塗布工法の配合等</div> <div>試験 加熱系 標準仕様書 (22.4.6(a)~(c))</div> <div>抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</div> <div>舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</div> <div>6 透水性</div> <div>アスファルト舗装</div> <div>(22.7.2,3,6)</div> <table><tr><th>材 料</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>ストレートアスファルト</td><td>・ 図示</td></tr></table> <div>試験</div> <div>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</div> <div>舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</div>	区 分	地 域	種 類	表層	◎一般地域	◎密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13F)	舗装の種類	部 位	厚 さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 ・ 図示	車路及び駐車場	・ 150 ・ 図示				種類・工法		部 位	基 層	厚さ(mm)	・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道及び駐車場 ・ 歩行者用通路	・ 無し	・ 図示	・ 石油樹脂系混合物	・ 常温系	・ ニート工法		・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装	3~5	・ 塗布工法	1程度以下	材 料	厚 さ (mm)	ストレートアスファルト	・ 図示
	種 別	材 料	厚 さ (mm)																																																																
	◎盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ◎建設汚泥から再生した処理土[G]	・ 図示																																																																
	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン[G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・ 図示																																																																
	・ フィルター層	・ 川砂, 海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下) ・	・ 図示																																																																
	砂の粒度試験	・ 行う	・ 行わない																																																																
	路床土の支持力比 ( C B R ) 試験	・ 行う	・ 行わない																																																																
	現場 C B R 試験	・ 行う	・ 行わない																																																																
	路床締固め度の試験 (現場密度)	・ 行う	・ 行わない																																																																
	区 分	地 域	種 類																																																																
表層	◎一般地域	◎密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)																																																																	
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																	
舗装の種類	部 位	厚 さ (mm)																																																																	
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 ・ 図示																																																																	
	車路及び駐車場	・ 150 ・ 図示																																																																	
種類・工法		部 位	基 層	厚さ(mm)																																																															
・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道及び駐車場 ・ 歩行者用通路	・ 無し	・ 図示																																																															
	・ 石油樹脂系混合物																																																																		
・ 常温系	・ ニート工法		・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装	3~5																																																															
	・ 塗布工法			1程度以下																																																															
材 料	厚 さ (mm)																																																																		
ストレートアスファルト	・ 図示																																																																		
工 事 名 称 城南中学校受水槽更新工事		山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL: 055-222-6644 FAX: 055-222-6100 https://sakkei-y.com yao@yao.plala.or.jp 吉野聡建築設計室	設計年月日 2023.06	図 面 名 称 特記仕様書 (6)	縮 尺 -	図 面 番 号 A-7																																																													



「建設地」城南中学校  
甲府市大里町2590番地1



解体受水槽  
新規受水槽設置位置



配置図 S=1:1000



工事名称

城南中学校受水槽更新工事

Yoshino S Design Office  
吉野聡建築設計室

山梨県 甲府市 德行3-3-25  
TEL: 055-222-6844  
FAX: 055-222-6100  
http://seikiei-y.com  
yao@pub.y.aj.jp

設計年月日

2023. 6

図面名称

案内図・配置図

縮尺

1 : 1000

図面番号

A-8



写真No1



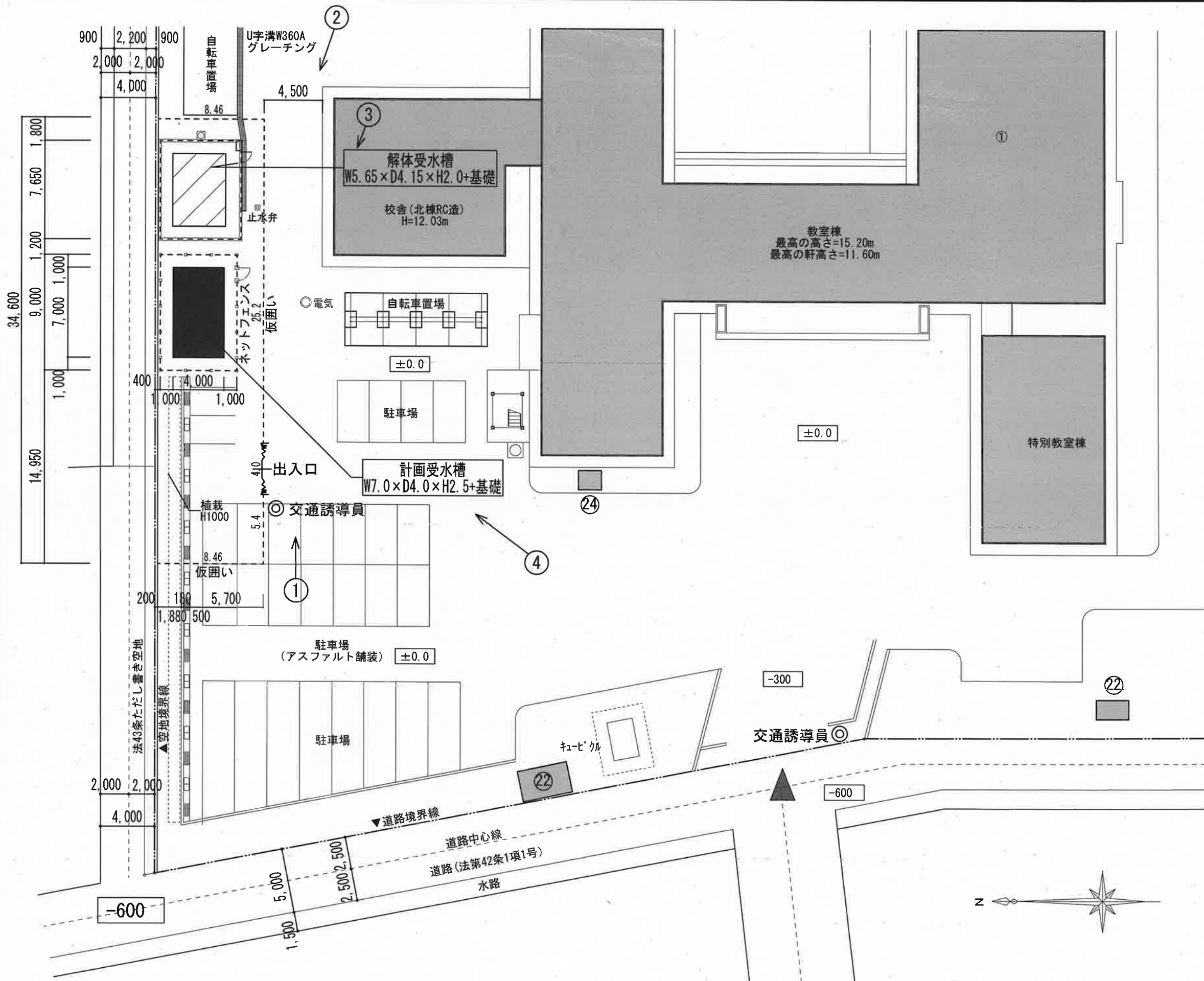
写真No2



写真No3

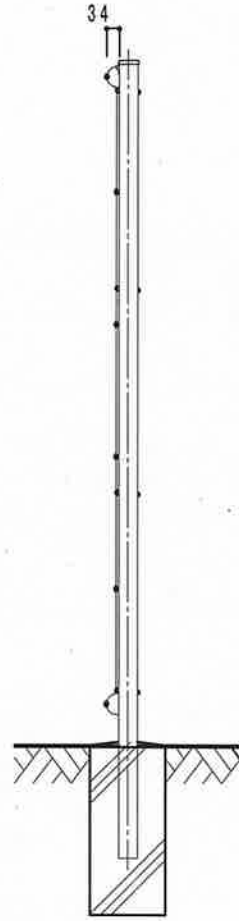
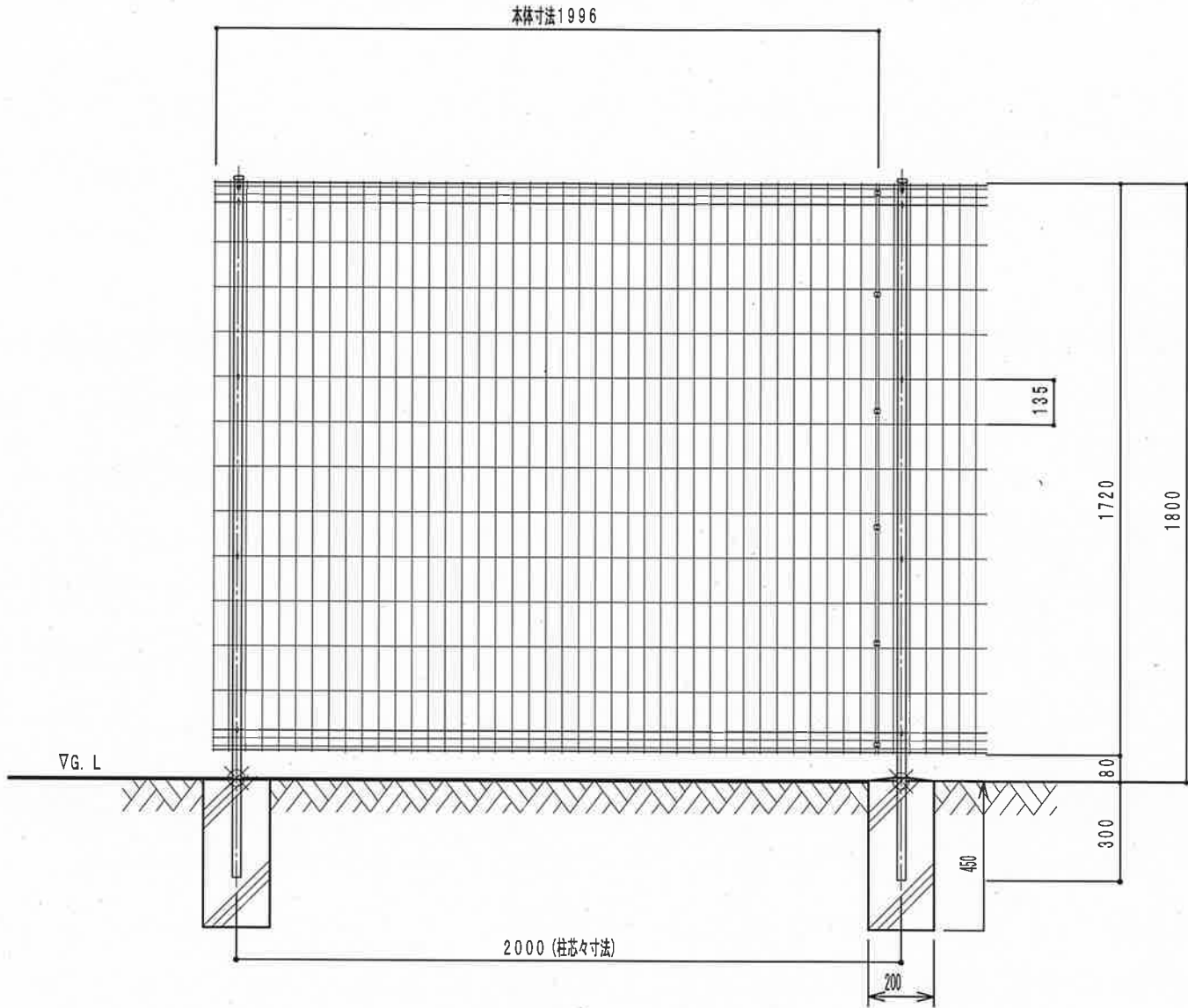


写真No4

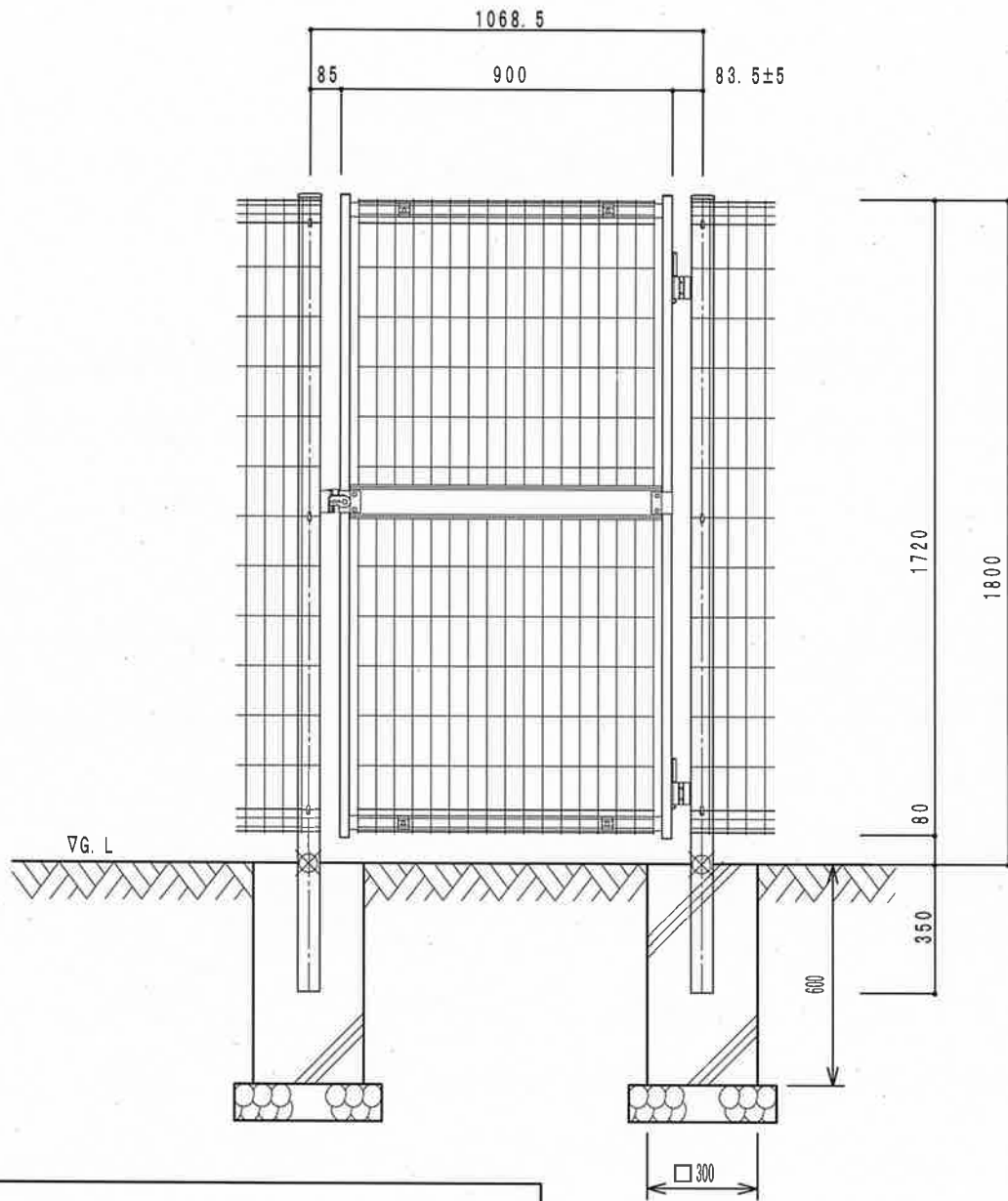




(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



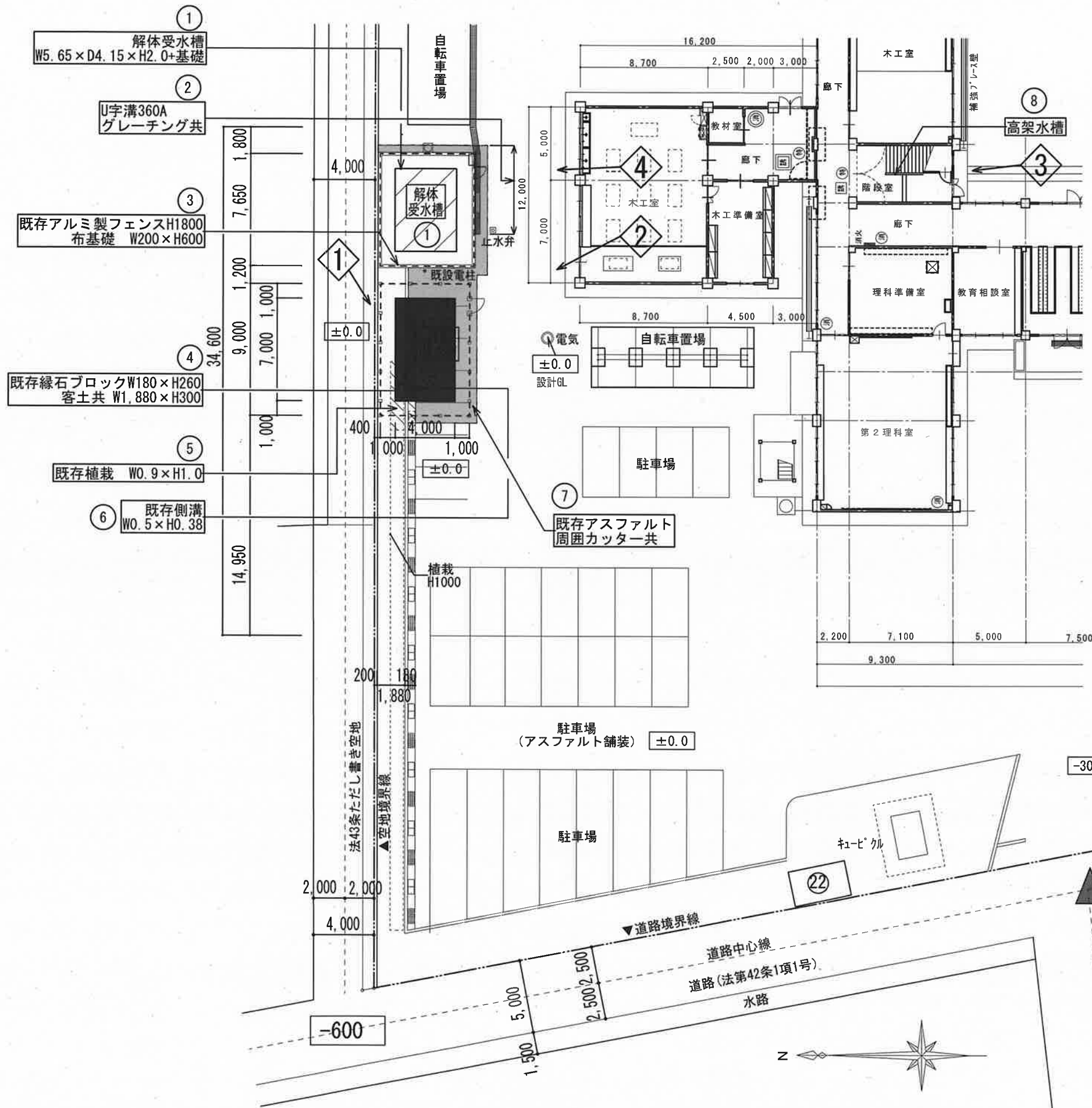
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



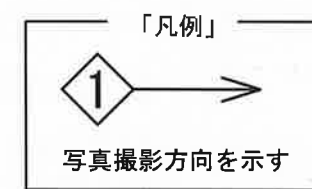
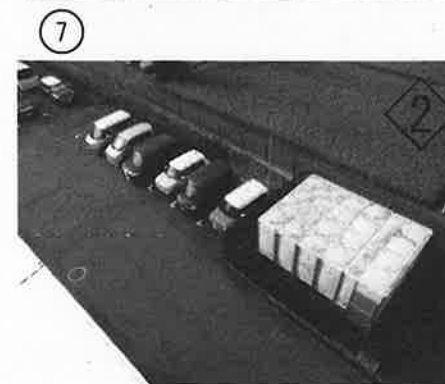
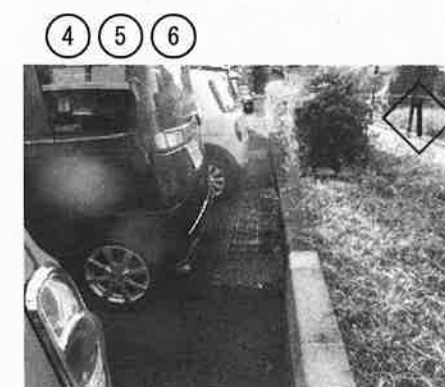
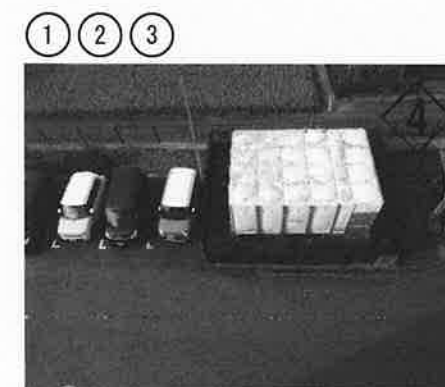
設計条件	LIXIL ハイグリットフェンスN8型、ハイグリットフェンス(門扉) NF8型 H1800 同等品		
設計荷重	昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。		
基礎条件	基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m <sup>2</sup> (10t/m <sup>2</sup> )		
主要部材			
部 材	外径・厚さ(横線×縦線)	材 質	下地処理・塗装
本 体	H1800(芯径4.5φ~36φ)	JIS G 3547 SWM GH-2	2種亜鉛メッキ+ポリエチレン系流動浸漬塗装
	H1800(外径5.5φ4.6φ)		
支柱(スチール柱)	H1800 26×50×1.2t	機械構造用角形鋼管	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
取付金具(継手)	—	SUS304	—
取付金具(コーナー継手)	—	JIS G 3302 SGHC	Z27+ポリエステル樹脂静電粉体塗装
フックボルト	—	SUS304	—
継手取付ネジ	—	SUS304	—
コーナー継手取付ボルト	—	SWRM	亜鉛・ニッケル合金メッキ
小口キャップ	—	塩化ビニール	—

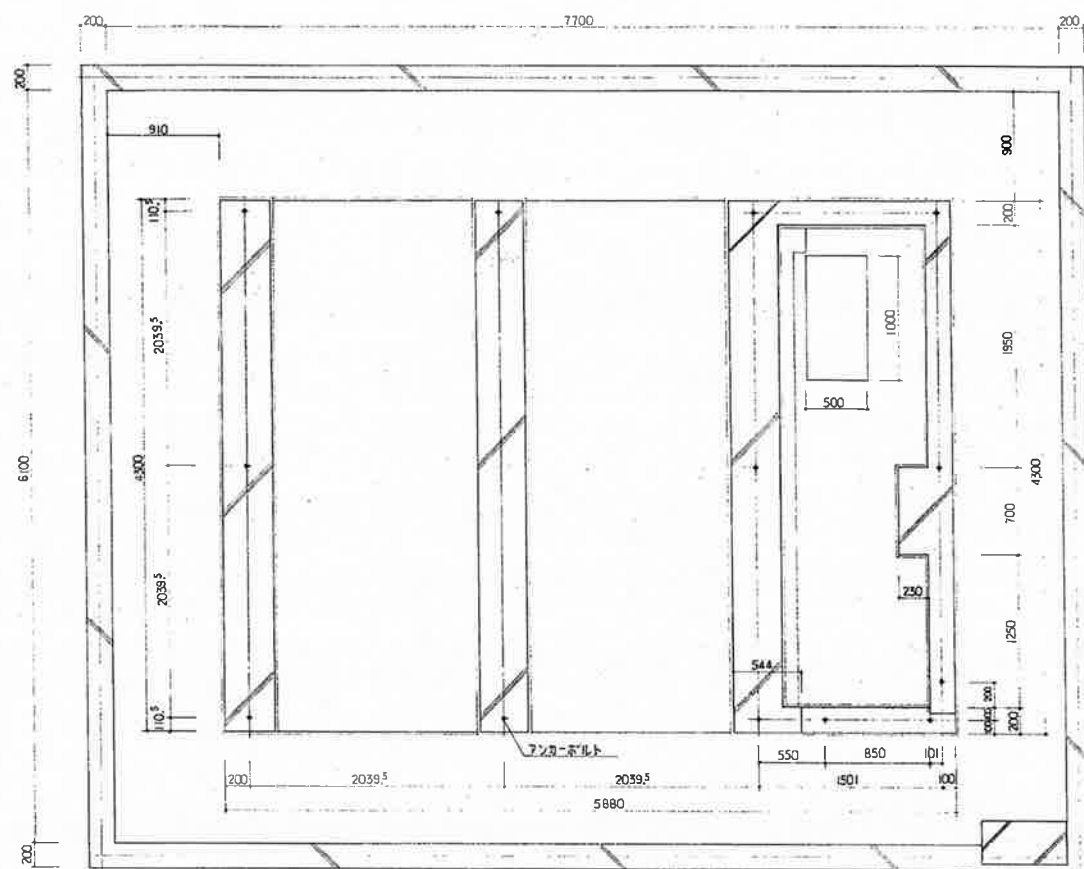




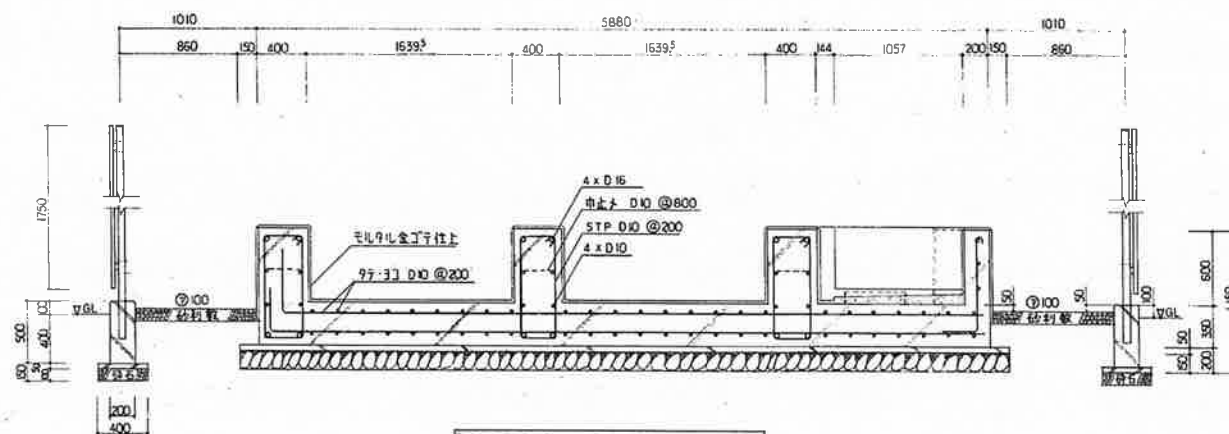


解体 凡例			
記号	用途	仕様	数量
①	受水槽+基礎	詳細は解体図(1)、(2)参照	1ヶ所
②	U字溝(360A)	W360mm×H300×L6,050mm	6.05m
③	アルミ製フェンス	詳細は解体図(1)、(2)参照	1ヶ
	基礎	詳細は解体図(1)、(2)参照	1ヶ
④	縁石ブロック	W180mm×H260mm×L10,100mm	1ヶ
	客土	D1,880mm×H300mm×L10,100mm	1ヶ
⑤	既存植栽	W900mm×D1,000mm××1,000mm×L4,700mm	1ヶ
⑥	既存側溝	(360A) W460mm×H425mm×L7,300	1ヶ
⑦	既存アスファルト	t=30	56.11㎡
	周囲カッター	t=30	31.21m
⑧	高架水槽	2,600φ×H1,900 給排水配管	1ヶ

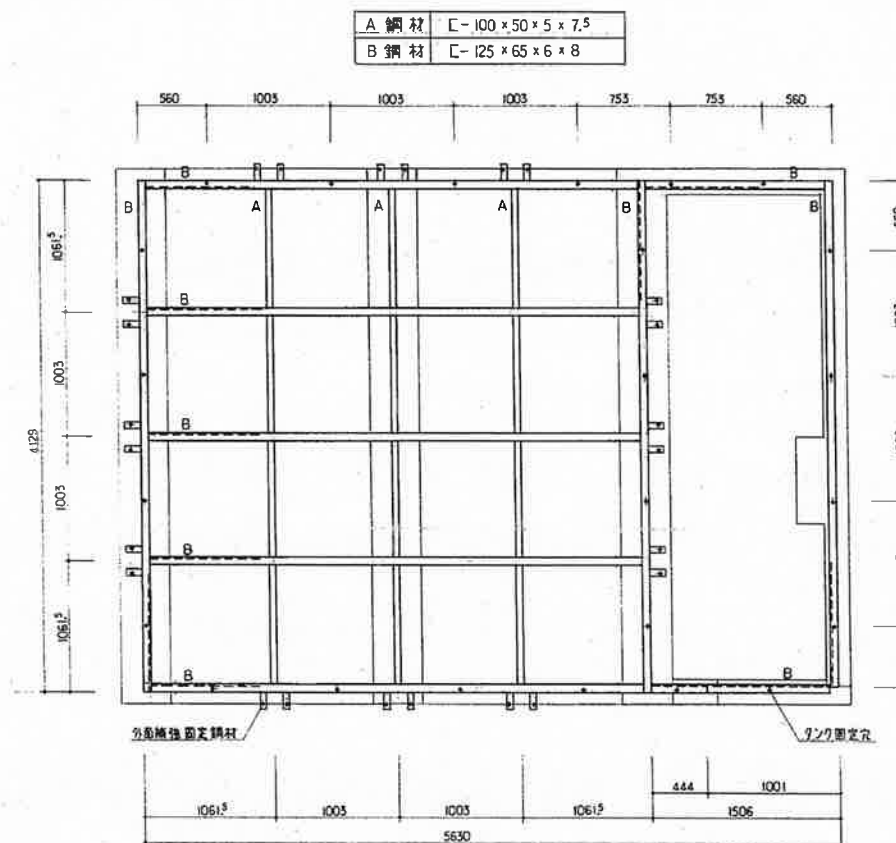




コンクリート基礎平面図 S=1:30

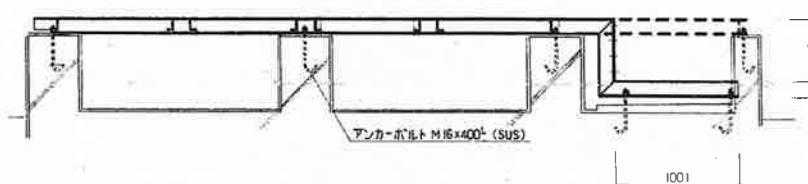


コンクリート基礎断面図 S=1:30



鉄骨架台平面図 S=1:30

※ 受水槽メーカーより寸法・部材等に変更がある場合は、製作図又は承認図を提出し、低價の承認を要す。



鉄骨架台断面図 S=1:30

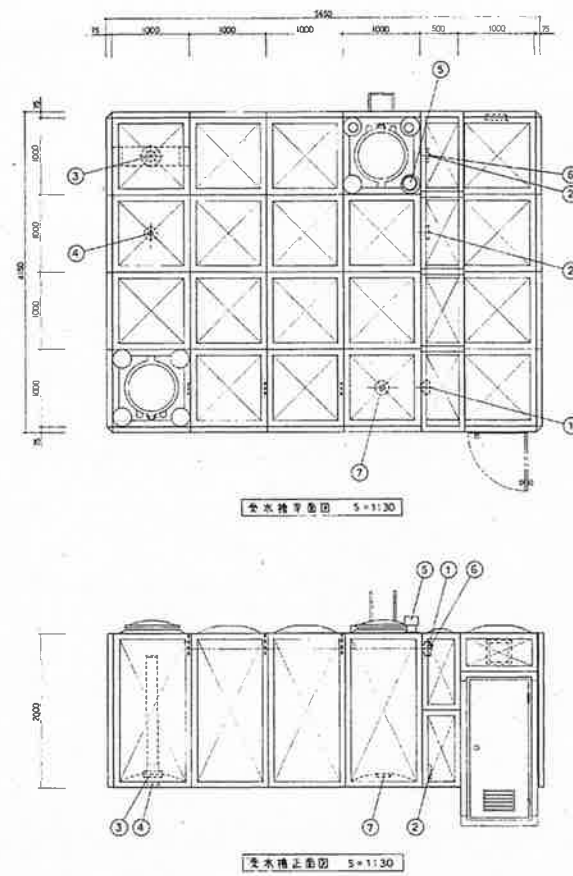
工事名	市立城南中学校受水槽設置	工事設計図	昭和63年1月	日	図	番
図面名	コンクリート基礎平面図、鉄骨架台平面図、断面図	縮尺	1/30	担当係長	課長	No. 6
甲府市役所建設部建築管理課						

既存受水槽平面、フェンス図 S=NS

解体 既存受水槽 (FRP製受水槽+鉄骨製架台の解体は設備工事)  
 ・鉄筋コンクリート製基礎  
 ・ネットフェンスH1800×28.4m  
 基礎共  
 ・解体後、敷地整地





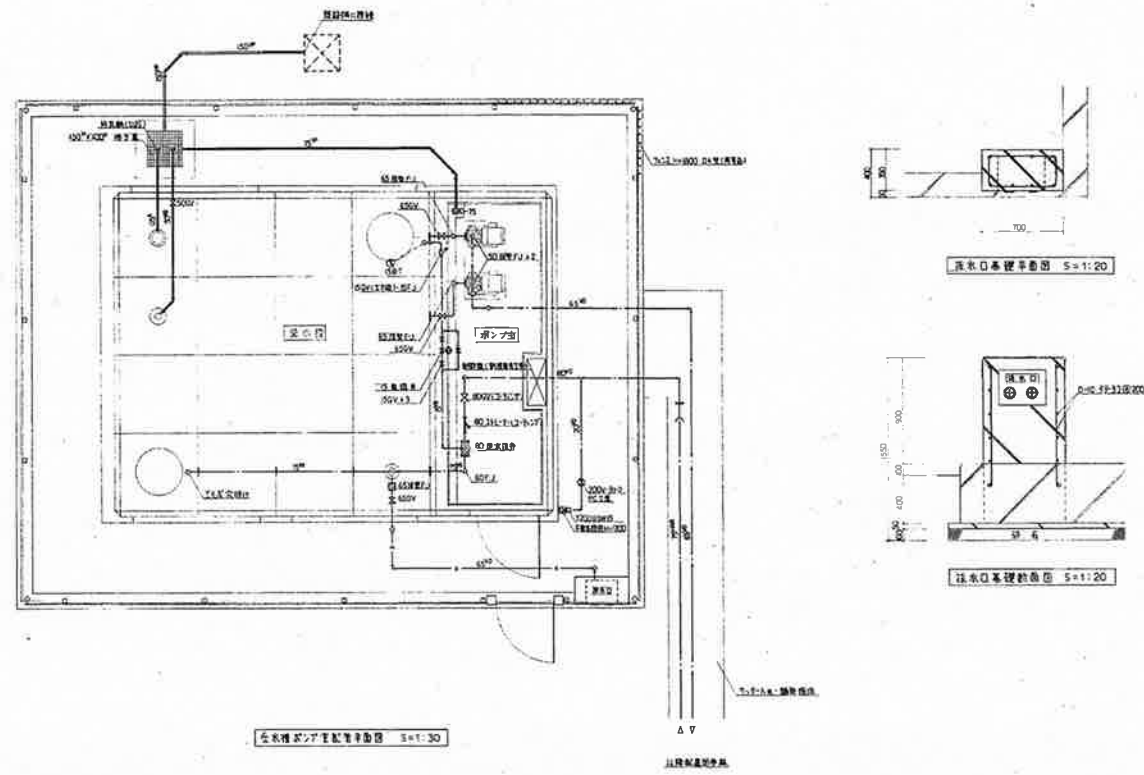


受水槽・ポンプ室仕様			
受水槽	4000×4000×2000 <sup>※</sup>	FRPパネル構造	320 <sup>※</sup> ×250 <sup>※</sup>
ポンプ室	4000×1500×2000 <sup>※</sup>	FRPパネル構造	125 <sup>※</sup> ×250 <sup>※</sup>
設備	名称	仕様	数量
1	人孔	60×F×1×F×H=2.1m	2
2	排水口	65×F×2×F×H=2.1m	2
3	排水口	125×F×1×F×H=1.1m	1
4	排水口	50×F×1×F×H=2.1m	2
5	排水口	100×F×1×F×H=2.1m	1
6	排水口	15×S×1×F×H=1.1m	1
7	排水口	65×F×1×F×H=1.1m	1

受水槽容量	25 <sup>※</sup> ×40 <sup>※</sup> ×50 <sup>※</sup> = 5000 <sup>※</sup>
排水口	25 <sup>※</sup> ×2 <sup>※</sup> ×100 <sup>※</sup> = 500 <sup>※</sup>
	50 <sup>※</sup> ×50 <sup>※</sup> ×100 <sup>※</sup> = 500 <sup>※</sup>

ポンプ仕様	
ポンプ	2台 55 <sup>※</sup> ×50 <sup>※</sup> ×50 <sup>※</sup> ×20 <sup>※</sup> ×3 <sup>※</sup> (1/2 <sup>※</sup> )
	1/2 <sup>※</sup> 電動機 GV, CV, PG IT

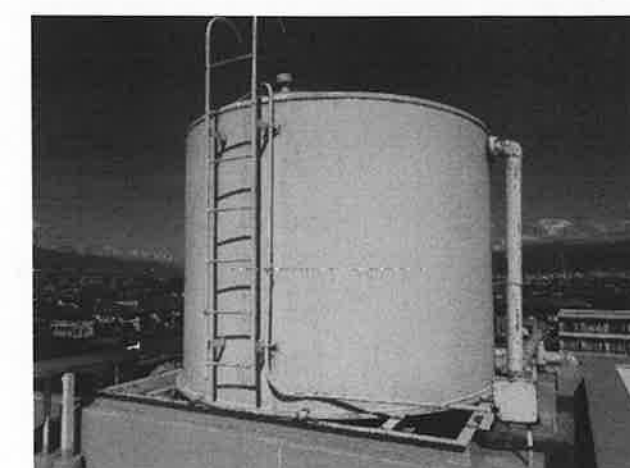
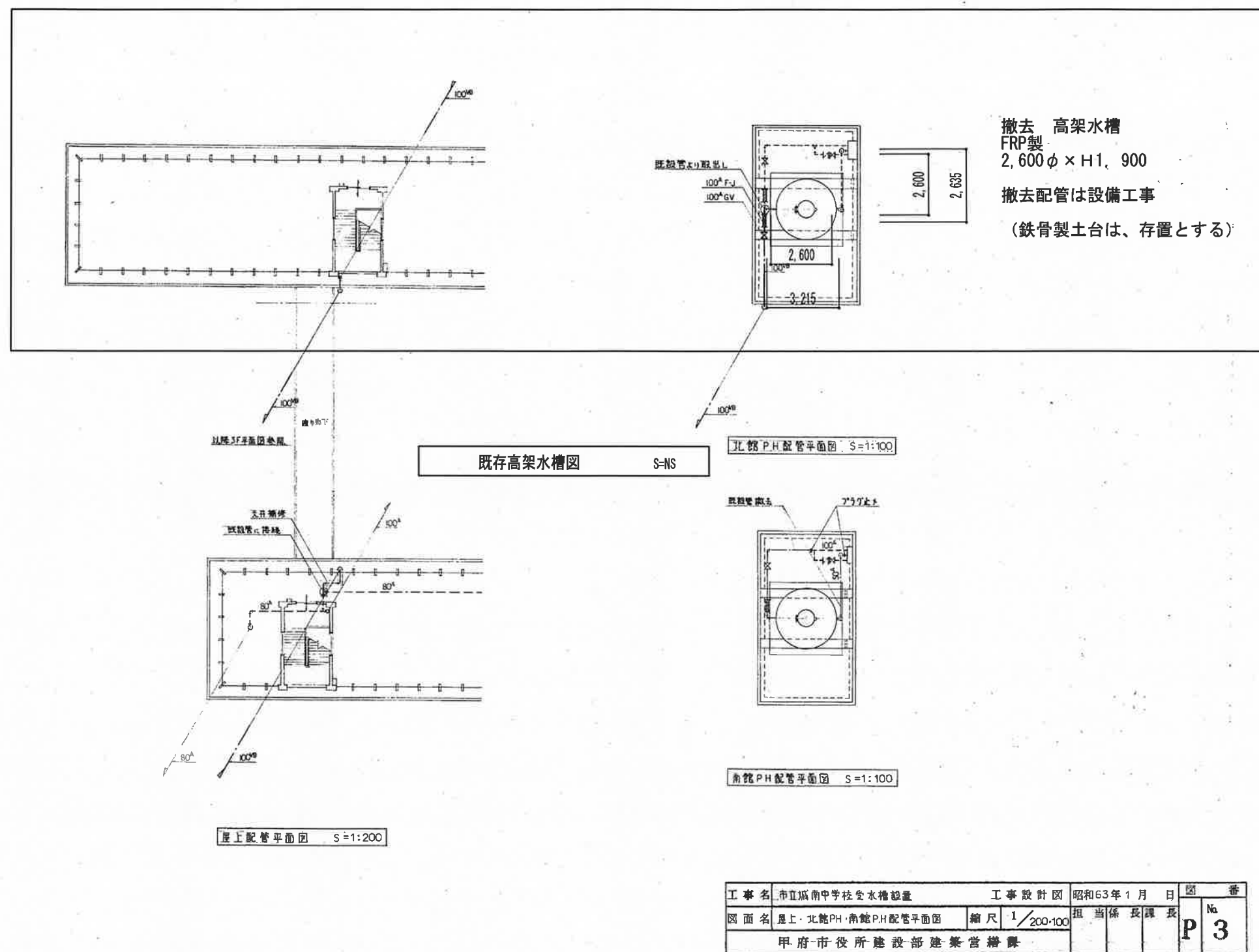
工事名	市立城南中学校受水槽設置工事	工事設計図	昭和63年1月	図	第5
図面名	受水槽平面図・立面図、各種仕様	縮尺	1/30	図	第5
甲府市役所建設部建築課					



工事名	市立城南中学校受水槽設置工事	工事設計図	昭和63年1月	図	第4
図面名	排水口基礎断面図・排水口基礎断面図	縮尺	1/30, 20	図	第4
甲府市役所建設部建築課					

解体図 既存受水槽・基礎・フェンス図 S=NS



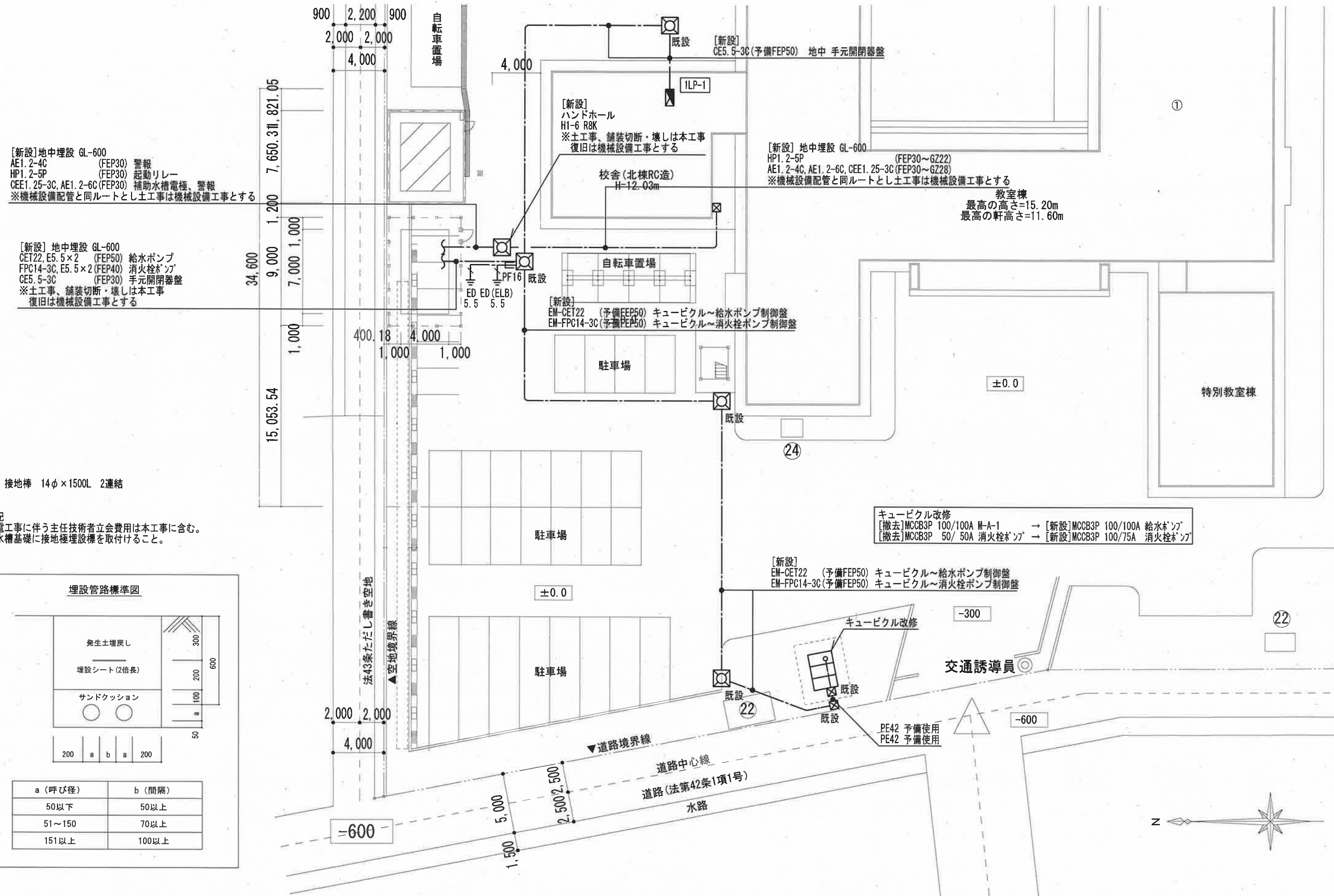


電気設備工事特記仕様書					
I 工 事 概 要	山梨県甲府市大里町2590番地1	IV 特 記 仕 様 ・ 施 工			
1. 工事場所		1 呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、導入線(1.2mm以上のビニル被覆鉄線)を挿入する。		
2. 敷地面積		2 結露防止	結露する恐れのある壁、天井にボックスを打込む場合は結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置を行う。		
3. 工事種目・概要	・給水設備改修に伴う電源改修工事、電極用配線、警報用配線工事 ・消火用補助水槽設置及び消火栓ポンプ更新に伴う電源改修工事、電極用配線、警報用配線工事 ・受水槽ポンプ室電灯コンセント設備工事 ・上記改修に伴う不要配管配線及び機器撤去工事	③ 金属製可とう電線管	屋外や水回り、湿気がある場所はビニル被覆付とする。		
II. 工 事 仕 様		④ ブルボックス	屋内 ※銅板製(指定色塗装) ・鋼板製(塗装なし) ・合成樹脂製 ・ステンレス製 床下、ビット内等、水気の多い場所 ※ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・合成樹脂製 屋外 ※ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・合成樹脂製 ・銅板製、ステンレス製は接地端子付とする。		
1. 共通仕様	(1) 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、全て下記による。 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編・令和4年版)」 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編・令和4年版)」 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編・令和4年版)」  (2) 適用基準 ・電気設備技術基準 ・内線規程 ・配電規程 ・建築基準法 ・消防法 ・建築設備耐震設計・施工指針2014年版 ・その他関係法令  (3) 項目は○印のついたものを適用する。  (2) 特記事項は○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印の付いた場合は共に適用する。  (3) 特記事項で「図示」とあるのは、設計図面記載事項を意味する。	⑤ ケーブル、電線	電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM)製品を使用する。 ただし、既製品のない種類のものは承諾を得ること。		
2. 特記事項の適用		⑥ ケーブル先行表示	ハンドホール、幹線用ブルボックス、EPS内ケーブルラックおよび分電盤等、要所の電線等には名札を取付け、用途、ケーブル種別、配線サイズ、電源種別(電圧)、出先～行先、施工年月日および施工者を表示すること。		
III. 特 記 仕 様 ・ 一 般 事 項		⑦ 防火区画等の貫通部に用いる材料	防火区画貫通処理は、監督員の承諾を得たうえ、国土交通大臣認定品を使用することができる。		
① グリーン購入法	グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準による仕様を満足すること。	8 情報(LAN)ケーブル	EM-UTPケーブル(カテゴリー6)とし、末端にはRJ45コネクタを取付ける。線色は協議による。		
② 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書(「設備機材等選定表」を含む)に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとはJIS及びJASのF☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはJIS及びJASのF☆☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則としてF☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。	9 一般照明の照度測定	※JIS C 7612「照度測定方法」に準拠し測定する。 測定箇所及び測定点は右記のほか、監督員の指示による。(※クライミング場 床面)		
③ 機材の品質・性能照明	設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関((社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。 ただし、JIS(日本工業規格)に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。標準仕様書によるJIS、JEC、JEM等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿(最新版)によるほか、監督員との協議による。	10 配線器具プレート類	特記なきプレートは ・樹脂製 ※金属製(新金属)		
4 機材の寸法及び姿図	機材等の寸法及び姿図はすべて参考とする。	⑪ 盤類の縦	盤類の縦は原則として200番とし、使い分けが必要な場合は550番とする。  ※タンプススイッチ埋込適用大角形(ネーム付) ・ワイド型(ネーム付)		
5 再使用機器	取り外し再使用する機器は、簡易清掃のうえ取りつける。	⑫ スイッチ			
⑥ 電気保安技術者	※資格者を選定する ・選定しない	⑬ 地中埋設深さ	地中埋設深さは原則として下記による。 ※低圧および弱電線路 GL-600以上 ・高圧線路 GL-1200以上		
⑦ 養生材の処理	引き渡しを要するもの ※無 ・有( ・機器類 ・配管材料 ・金属類 ・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有( ・PCB使用機器 ・PCB分析調査を要する( ・変圧器 台 ・コンデンサ 台 )	⑭ 埋設シート	地中線路にはケーブル埋設標識シート(2倍長以上)を設ける。		
8 残土処分	引き渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令に従い、適切に処理すること。 産業廃棄物は産業廃棄物マニフェストを提出すること。  ※構外搬出とし適切に処分する(自由処分) ・構内指示場所に敷き均し ・構内指示場所に堆積 ・構外指定場所( )に搬出	⑮ FEP電線管	地中埋設配管に使用するFEP電線管は難燃性とする。		
⑨ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用および官公署その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は請負者の負担とする。	⑯ 鉄筋探査	既存壁のコア抜き箇所については事前に鉄筋探査を行うこと。		
⑩ 施工図の取り扱い	施工図等の著作権にかかわる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	⑰ 停電工事	停電工事は電気主任技術者立会のもと行うものとする。(立会費用、その他申請手続きに伴う費用は本工事に含む) 停電工事は土日祝日を想定するが、日程については施設管理者と綿密に打合せを行うこと。 また、事前に停電作業の計画書を提出し、施設管理者と監督員の承諾を得ること。		
⑪ 凡例	図中に特記なきシンボル等はJISC-0303-00に準拠する。	⑱ 申請・届出等	所轄消防署等への申請・届出の手続き及び費用は本工事に含む。		

工 事 名 称	設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
城南中学校受水槽更新工事	2023. 6	特記仕様書	N S	E-01

Yoshino・S Desing Office  
吉野聡建築設計室

山梨県 甲府市 徳行3-3-25  
TEL:055-222-6644  
FAX:055-222-6100  
https://sekkei-y.com  
yao@ruby.plala.or.jp



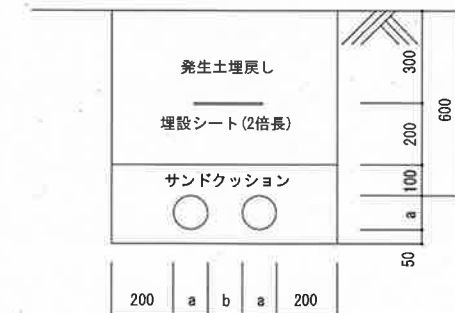
[新設] 地中埋設 GL-600  
 AE1. 2-4C (FEP30) 警報  
 HP1. 2-5P (FEP30) 起動リレー  
 CEE1. 25-3C, AE1. 2-6C (FEP30) 補助水槽電極、警報  
 ※機械設備配管と同ルートとし土工事は機械設備工事とする

[新設] 地中埋設 GL-600  
 CET22, E5. 5×2 (FEP50) 給水ポンプ  
 FPC14-3C, E5. 5×2 (FEP40) 消火栓ポンプ  
 CE5. 5-3C (FEP30) 手元開閉器盤  
 ※土工事、舗装切断・壊しは本工事  
 復旧は機械設備工事とする

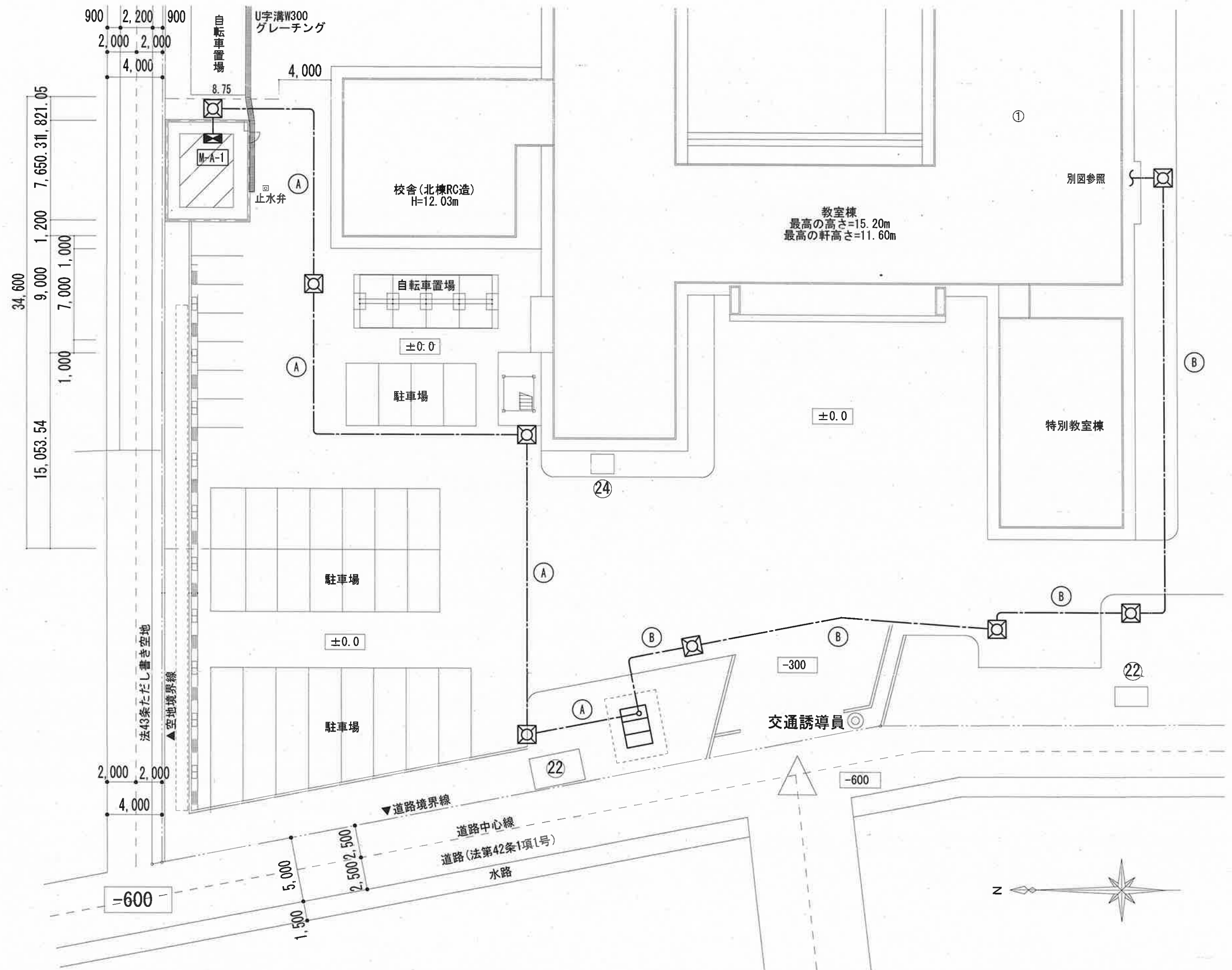
凡例  
 接地棒 14φ×1500L 2連結

※注記  
 停電工事に伴う主任技術者立会費用は本工事に含む。  
 受水槽基礎に接地極埋設標を取付けること。

埋設管路標準図

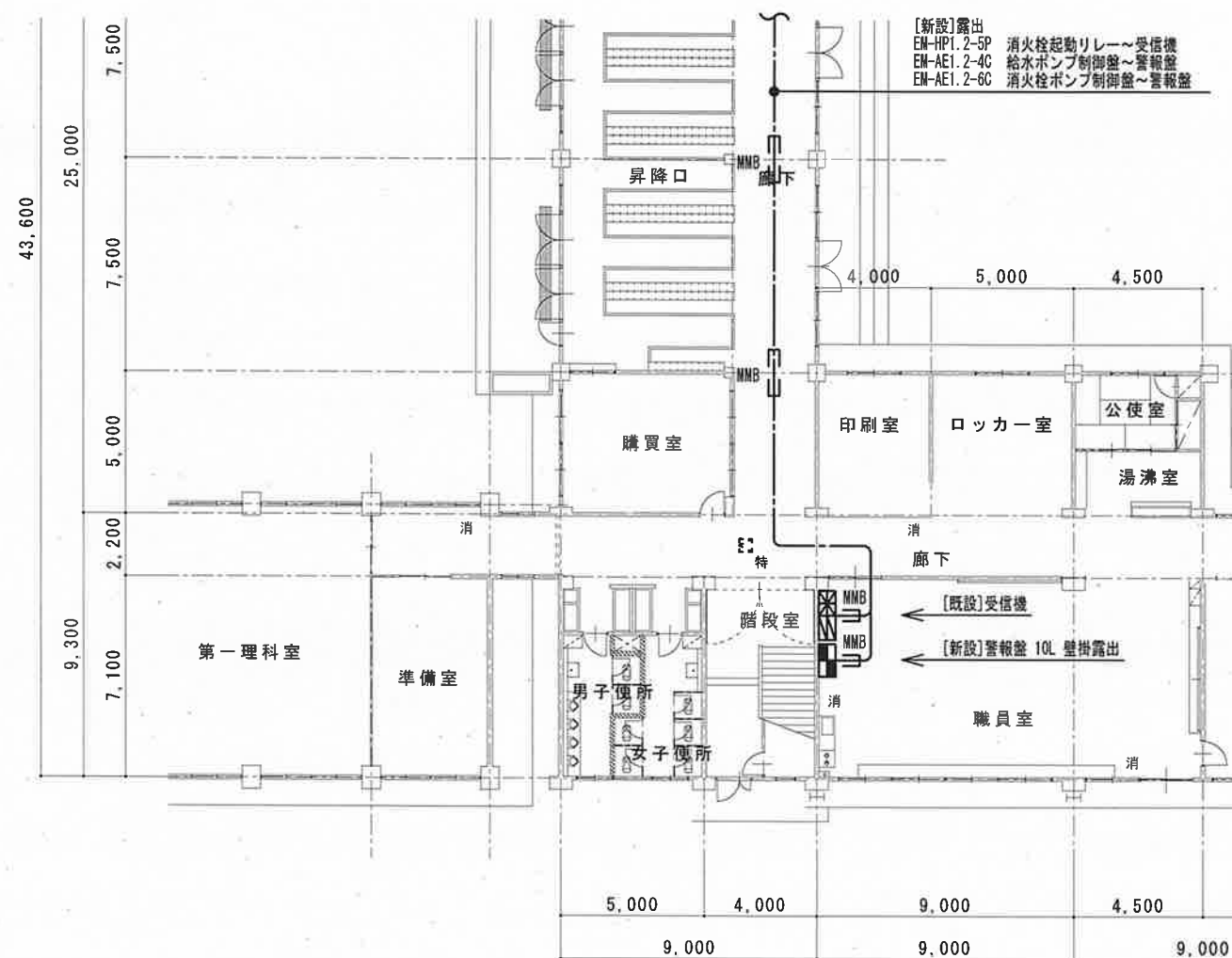
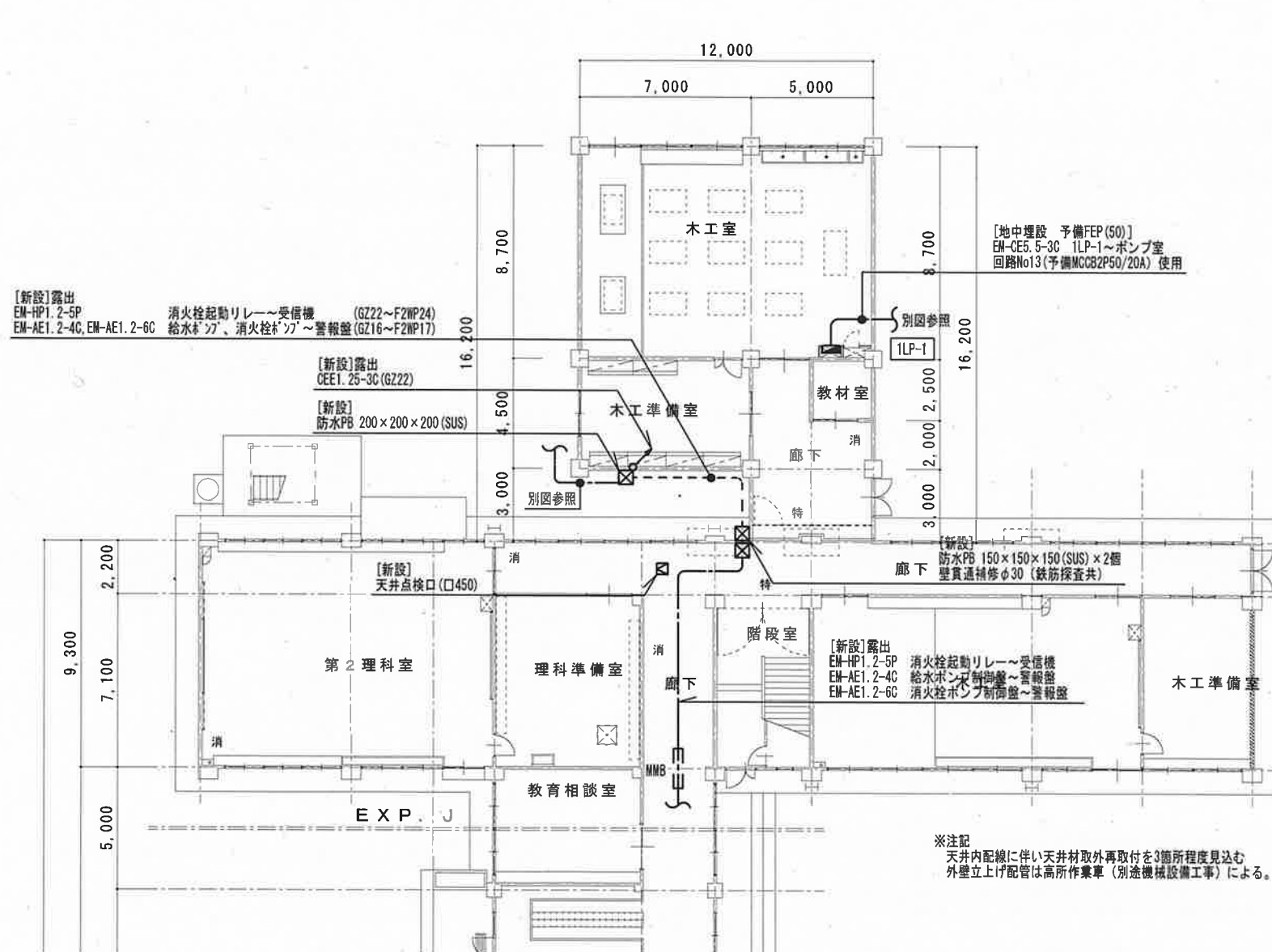


a (呼び径)	b (間隔)
50以下	50以上
51～150	70以上
151以上	100以上



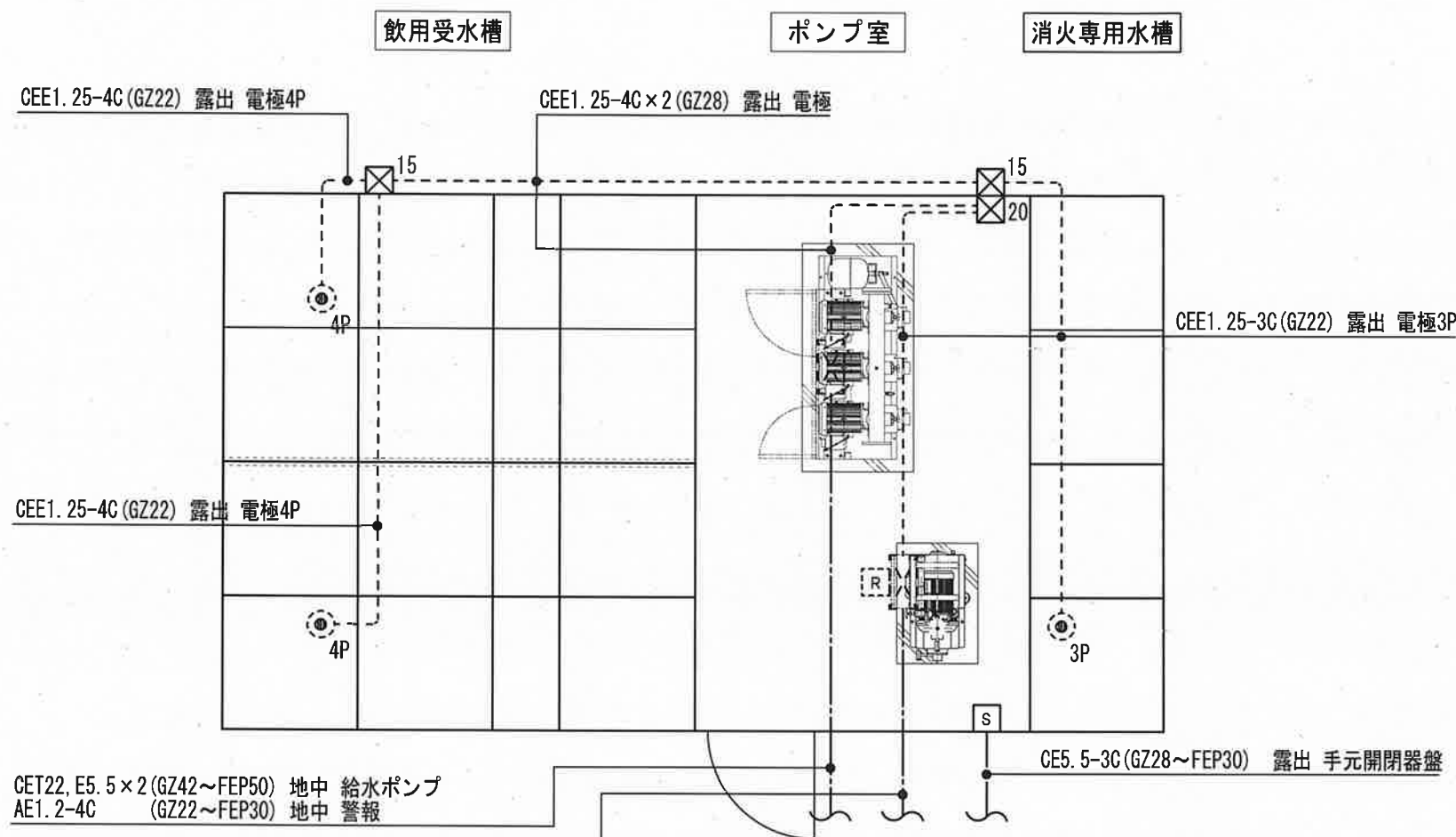
- (A) [撤去]CV14-3C 地中 (FEP) 動力盤M-A-1
- (B) [撤去]CV14-3C 地中 (FEP) 消火栓ポンプ





1階平面図 S=1:250

【新設警報盤 警報リスト】	
消火用屋上補助水槽減水	
消火用屋上補助水槽満水	
受水槽減水	
受水槽満水	
消火水槽減水	
消火水槽満水	
給水ポンプ故障一括	
消火ポンプ故障一括	
予備	
予備	



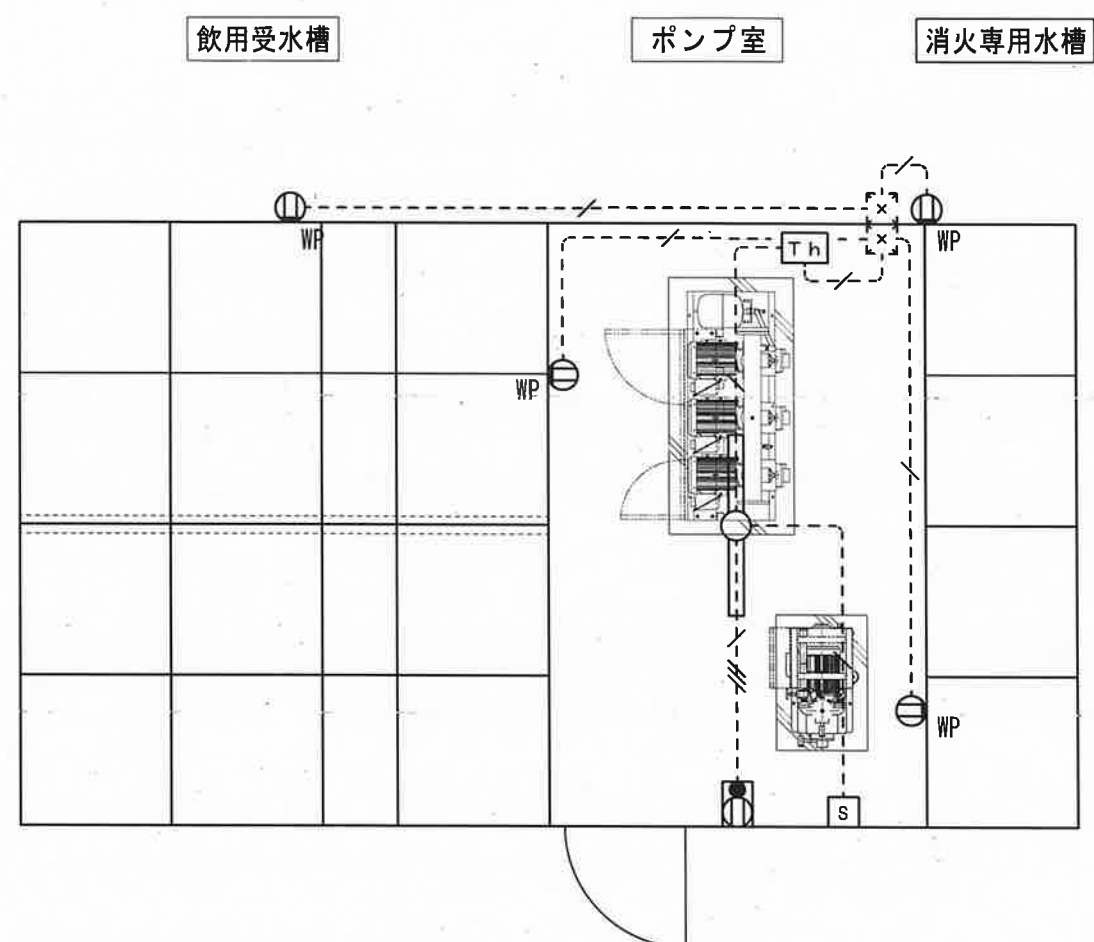
FPC14-3C, E5. 5×2 (GZ36~FEP40) 地中 消火栓ポンプ

HP1. 2-5P (GZ22~FEP30) 地中 起動リレー

CEE1. 25-3C、AE1. 2-6C (GZ22~FEP30) 地中 補助水槽電極3P、警報

ポンプ室平面図 S=1:50

凡 例	
記 号	名 称
	手元開閉器盤 屋外用防雨型 ELCB2P30/20A
	消火栓起動リレー 制御盤内蔵
	防水プルボックス 150×150×150 (SUS)
	防水プルボックス 200×200×200 (SUS)



ポンプ室平面図 S=1:50

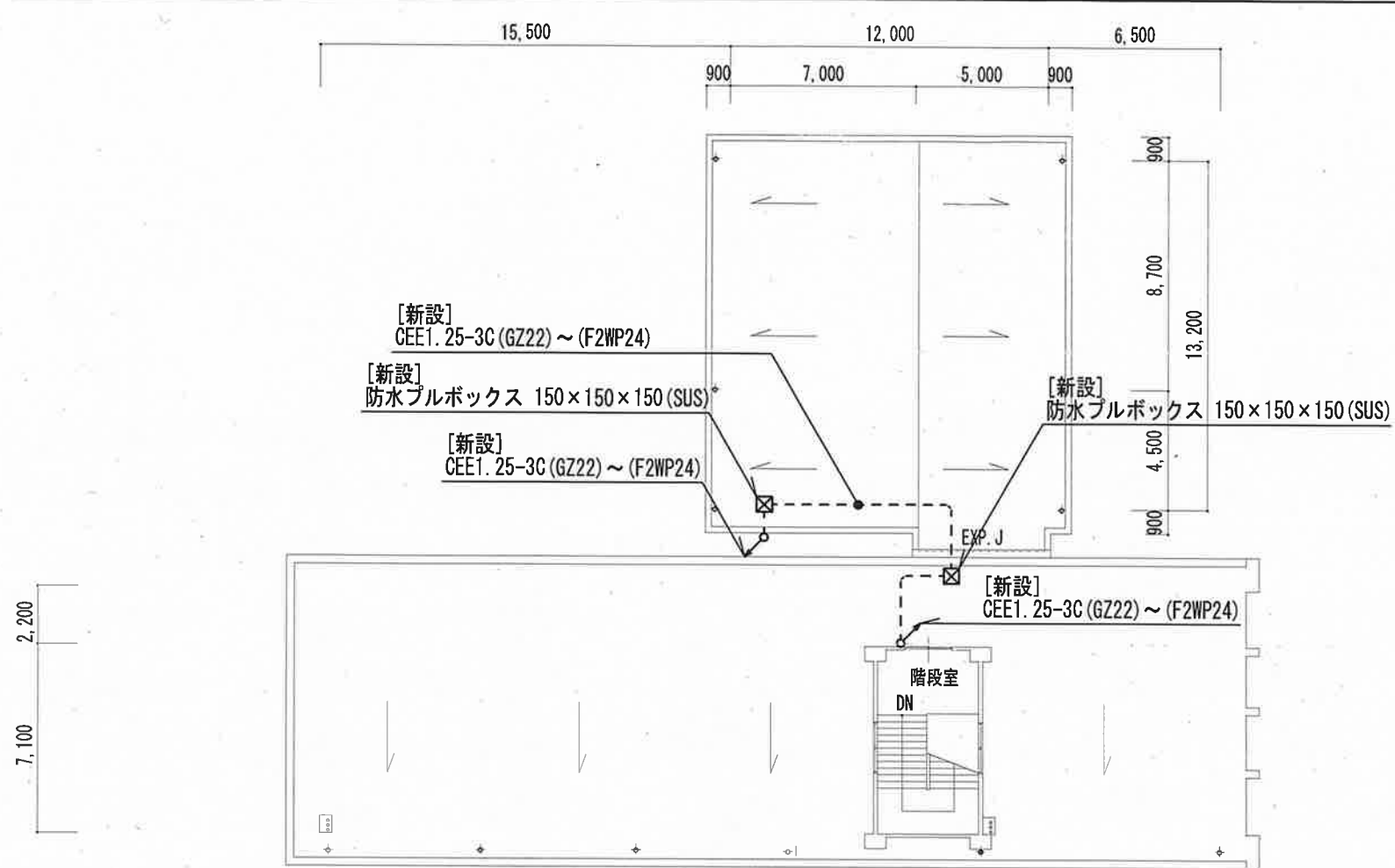
凡 例	
記 号	名 称
	LED照明 LSS1MP/RP-4-30LN
	丸形露出ボックス (3方出) 共
	換気扇用温度スイッチ (P-03CT相当品)
	露出ボックス (2方出)、コンセント2P15A×1共
	スイッチ1P15A×1+コンセント2P15A×1 接地極付 新金プレート、露出ボックス (1方出) 共
	防水コンセント 2P15A×2 接地極、接地端子付 露出ボックス (1方出) 共 ※基礎部に取付

特記なき配線は下記による。

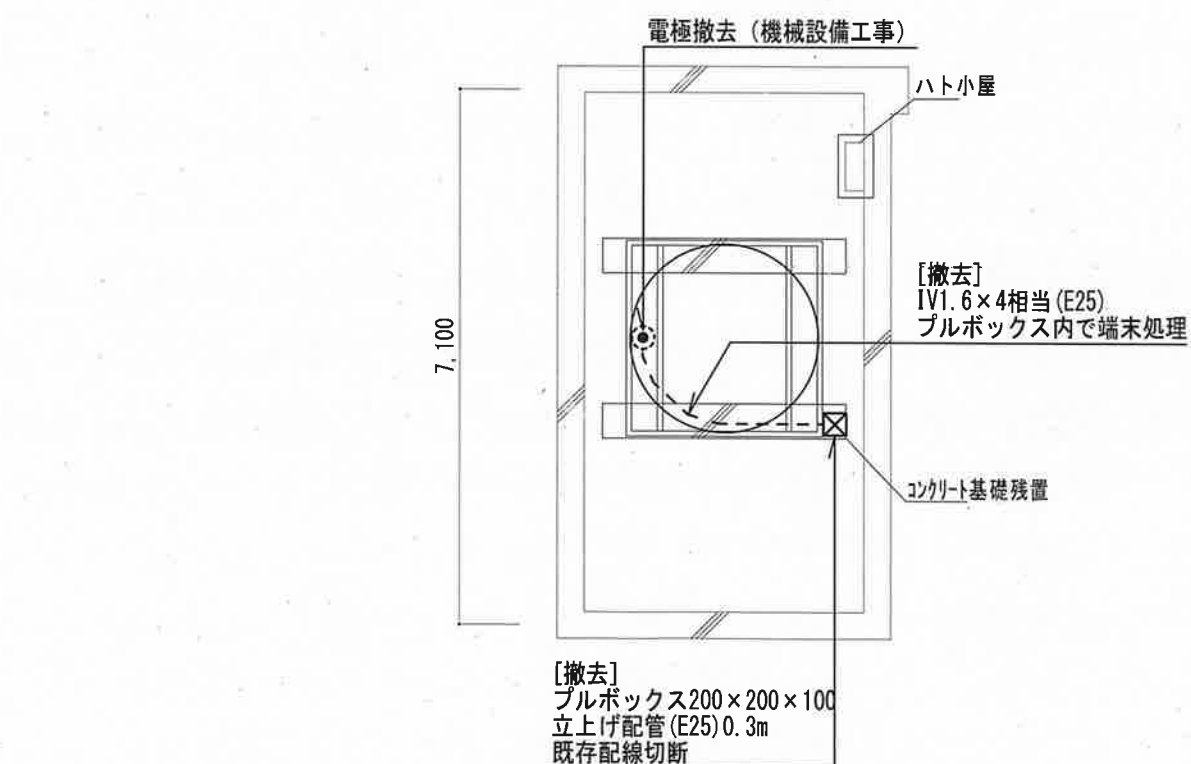
---//--- IE2.0×2, E2.0 露出 (GZ16)

---//--- IE2.0×3, E2.0 露出 (GZ16)

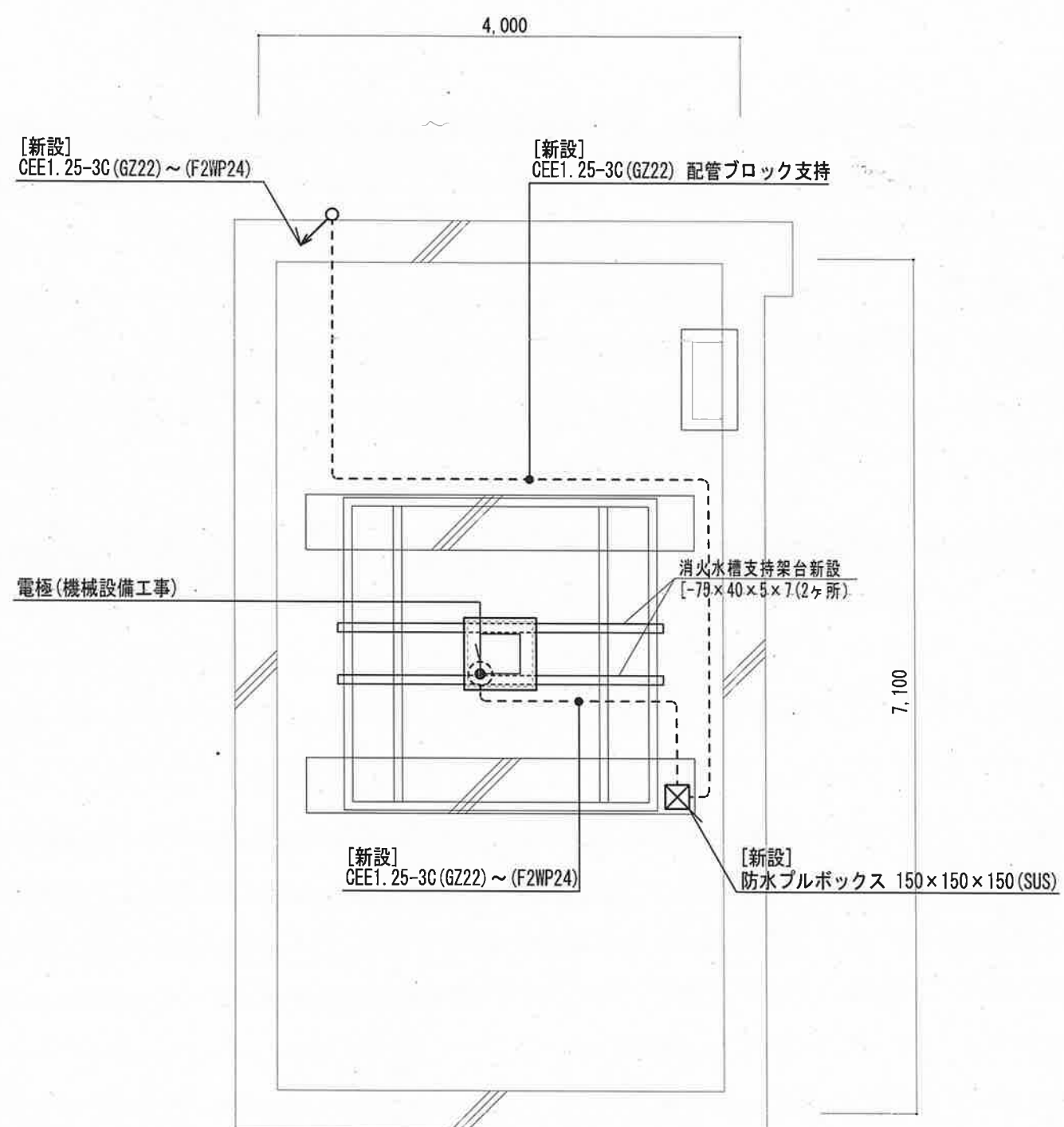




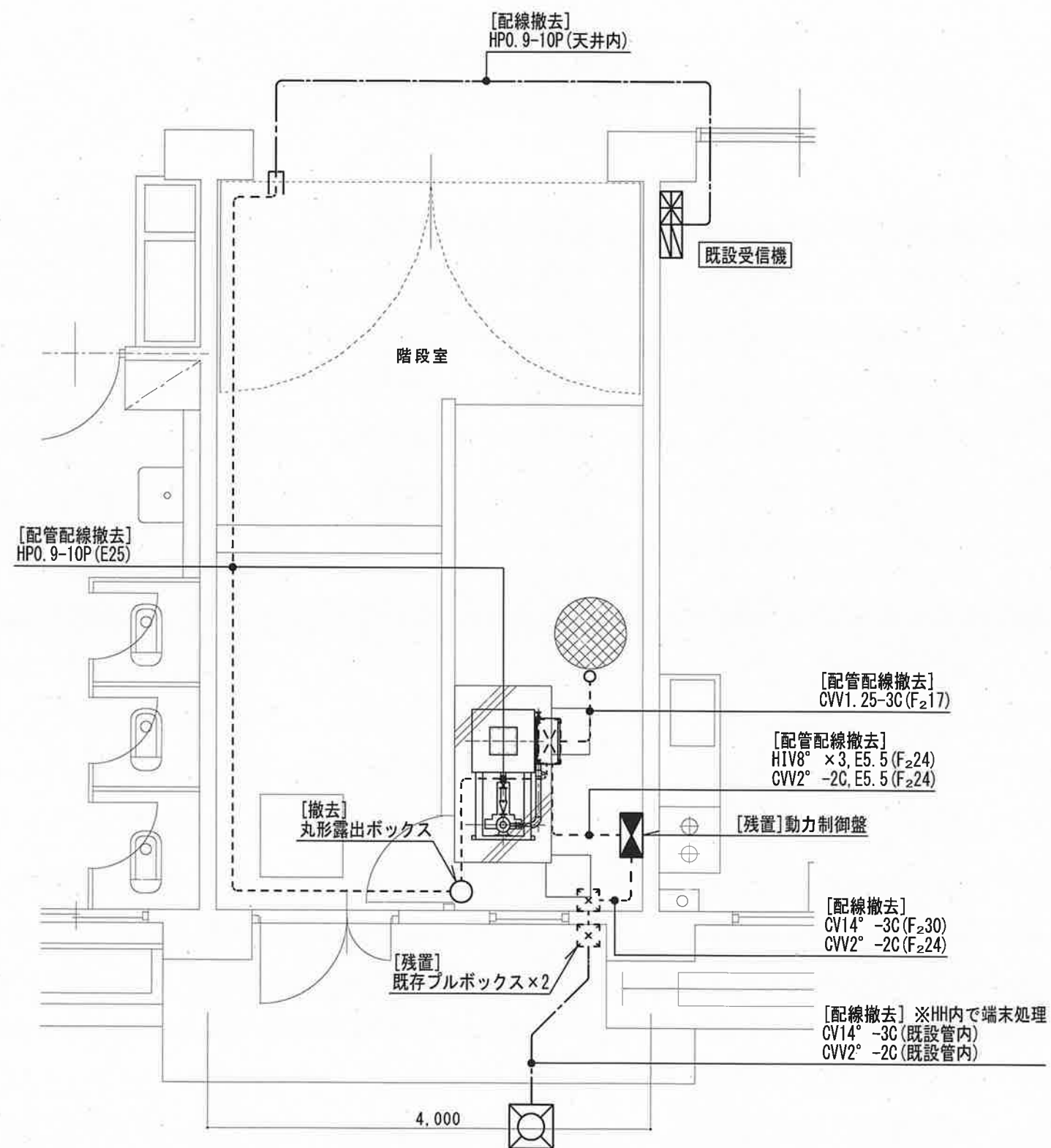
R階平面図 S=1:250



高架水槽廻り平面図 (改修前) S=1:100

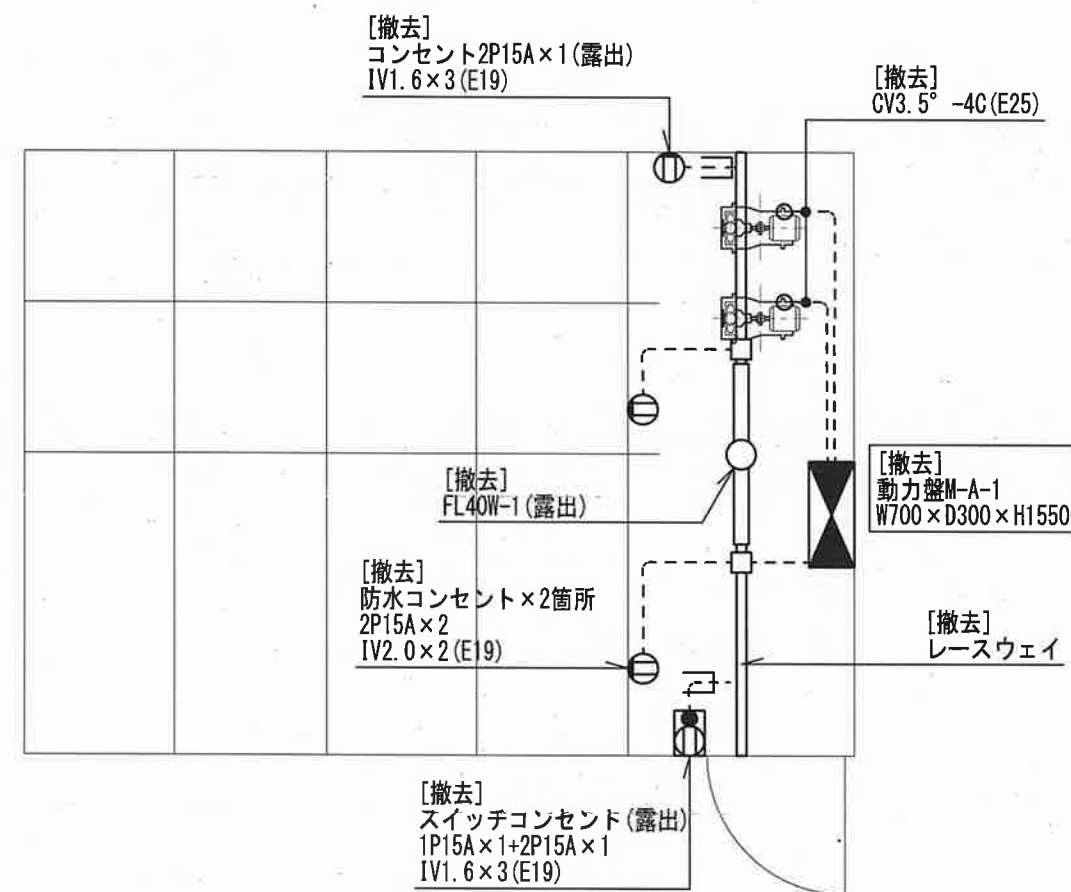


高架水槽廻り平面図 (改修後) S=1:50



消火栓ポンプ室撤去平面図 S=1:50

※消火栓ポンプに伴い不要となる配線配管は全て撤去とする。  
※配管撤去部分の不要開口はモルタル等にて補修とする。



受水槽ポンプ室内撤去平面図 S=1:50

図 面 リ ス ト		
N o	名 称	縮 尺 ( A 3 )
M-01	図 面 リ ス ト	No. S
M-02	特 記 仕 様 書 ( 1 )	No. S
M-03	特 記 仕 様 書 ( 2 )	No. S
M-04	主 要 機 器 表	No. S
M-05	案 内 図 、 配 置 図	1/1000
M-06	給 水 ・ 消 火 設 備 系 統 図	No. S
M-07	受 水 槽 廻 り 配 管 平 面 図	1/50
M-08	受 水 槽 + ポ ン プ 室 配 管 平 面 図	1/50
M-09	1 階 平 面 図	1/250
M-10	2 階 平 面 図	1/250
M-11	3 階 平 面 図	1/250
M-12	R ・ P H 階 平 面 図	1/250
M-13	高 架 水 槽 廻 り 平 面 図	1/50
M-14	受 水 槽 + ポ ン プ 室 平 面 図 ( 参 考 図 )	1/40
M-15	受 水 槽 + ポ ン プ 室 立 面 図 ( 参 考 図 )	1/40
M-16	受 水 槽 + ポ ン プ 室 平 架 台 ・ 基 礎 平 面 図 ( 参 考 図 )	1/40
M-17	撤 去 機 器 表 、 消 火 栓 ポ ン プ 室 撤 去 平 面 図	1/50
M-18	柵 類 詳 細 図 、 屋 外 配 管 埋 設 断 面 図	No. S

特 記 仕 様 書（１）					
工 事 名 称	城南中学校受水槽更新工事				4. 消 火 設備工事
工 事 場 所	甲府市 大里町2590-1				新設ポンプ室内へ屋内消火栓ポンプユニットを設置する。 ポンプから消火管を新設し校舎外部地中部分にて既存消火管に
工 事 範 囲	設計図書及び工事契約書による。				接続替えを行う。
					5. 換 気 設備工事
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）				新設ポンプ室内へ換気扇を設置する。
	・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。				6. 撤 去 工事
	2. 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、				加圧給水ポンプ新設に伴う既存揚水ポンプ・消火栓ポンプユニット及び給水・消火配管の撤去を行う。
	係員と協議の上詠実に施工するものとする。 但し、その費用は請負者の負担とする。				既設受水槽（基礎共）・高架水槽・フェンス等の撤去（建築工事）を行う。
	3. 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、				
	施工図等を提出し係員の承諾を得ること。			メーカー指定	主要機器材料は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修設備機材等評価名簿（最新版）による。
	4. 本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。またCREDAS（最新版）を用いての再資源利用計画・実施書の				尚メーカーリスト及び承諾図を提出し、監督員の承諾を得ること。
	提出を行うこと。				
	5. 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。				
	6. 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。				
	7. 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良等起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。				
	8. 工事写真・施工図・竣工図等は、電子納品とする。（但し、完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこと。）				
工 事 項 目	1. 受水槽＋ポンプ室工事                      4. 消 火 設備工事				
	2. 給 水 設備工事                                  5. 換 気 設備工事				
	3. 排 水 設備工事                                  6. 撤 去 工事				
優 先 順 位	1. 法令・政令・規則等の定め及び指導				
	2. 質疑回答書				
	3. 特記仕様書				
	4. 設計図書				
	5. 国土交通省大臣官房庁営繕部監修 『公共建築工事標準仕様書』（機械設備工事編）				
	6. 国土交通省大臣官房庁営繕部設備・環境課監修 『公共建築工事設備標準図』（機械設備工事編）				
工 事 概 要	1. 受水槽＋ポンプ室工事				
	図示の位置へステンレス製パネル溶接型受水槽（飲用、消火用２槽）＋ポンプ室を設置する。				
	コンクリート基礎及び鉄骨架台の設置も行う。				
	2. 給 水 設備工事				
	敷地内既存量水器７５φ下流側の直結給水管より分岐し、新設飲用水槽及び消火専用水槽へ接続する。				
	以降新設ポンプ室内へ加圧給水ポンプを設置し校舎内へ水を供給する。 加圧ポンプ給水管は既存高架水槽部分まで新規配管し、				
	高架水槽出水管部分にて接続替えを行う。				
	既存高架水槽は撤去し、新たに消火用補助水槽を設置する。				
	3. 排 水 設備工事				
	受水槽＋ポンプ室の排水を側溝へ放流する。				

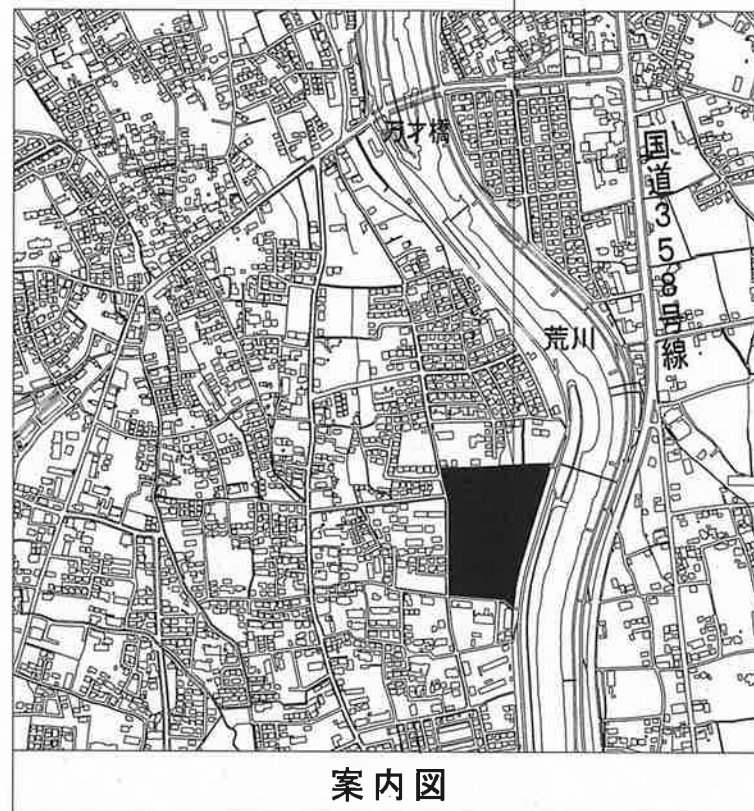
工 事 名 称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 德行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図 面 名 称 特 記 仕 様 書（１）	縮 尺 No. S	図 面 番 号 M-02
---------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	-------------------------	--------------	-----------------

[illegible]

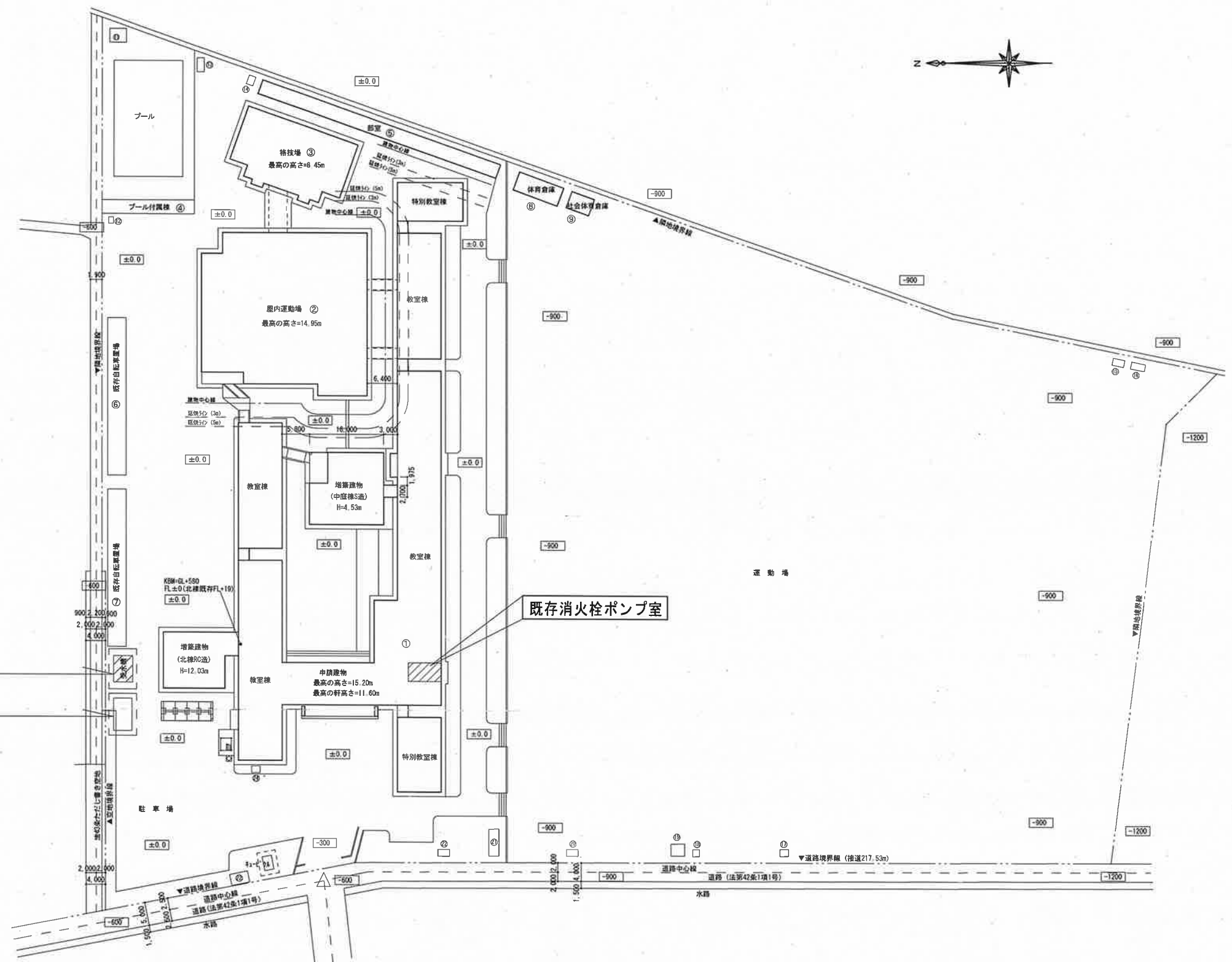
主 要 機 器 表										
記 号	名 称	仕 様			電 源			設 置 場 所	数	
					相	電 圧	容量 (参考値)			
WT-1	受水槽+ポンプ室	形 式	ステンレス製パネルタンク（溶接組立）ポンプ室併設型						屋 外	1
			溶融亜鉛メッキ（メーカー仕様）架台共      水槽、ポンプ室、架台の詳細は別紙参照							
		耐 震	水平震度1.5G							
		寸 法	飲用水槽   4×3.5×2.5H      呼称35m3      保温付仕様							
			消火水槽   4×1×2.5H      呼称10m3      保温付仕様							
			ポンプ室   4×2.5×2.5H							
		付属品	MH（二重）×2、内外ハシゴ×2、通気口×2							
			電極座及びカバー×2、防波筒×2							
		その他	緊急給水口（吐水口回転型横水栓   F-7-13）設置							
WPU-1	給水ポンプユニット	形 式	インバーターによる吐出圧力一定制御			3	200	(5.5×2) Kw	ポンプ室	1
		能 力	65φ×100φ×770L/min×38m							
		運転方式	3台ローテーション2台並列交互運転							
		制御方式	周波数制御による推定末端圧力一定制御							
		制御盤	漏電ブレーカー、電流計、周波数計							
			インバーター、マイクロコンピューター							
			運転表示、故障表示、手動自動切替え、1-交-2切替							
			外部一括警報用無電圧接点、リアクトル							
			液面リレー（ポンプ制御用4P）      ノイズフィルター、アレスター付							
		付属品	フランジヒーター（ポンプメーカー標準品）							
FPU-1	屋内消火栓 ポンプユニット	形 式	流れ込み運転仕様ユニット型      2P      省スペースタイプ			3	200	5.5Kw	ポンプ室	1
		能 力	50φ×300L/min×66m							
		制御盤	始動リレー内蔵      屋上及び地上消火水槽満減水警報回路付							
		付属品	吐出短管、GV、CV、FJ、テスト管   他							
FT-1	消火用補助水槽	形 式	鋼板製      板厚3.2mm						屋 上	1
		仕 様	容量200L      平架台共							
		その他	TF-200      詳細は標準図（機械設備工事編）参照							
			ステンレス製も可とする							
EF-1	換 気 扇	形 式	壁面設置型      電気式      スタンダードタイプ			1	100	14.5w	ポンプ室	1
		能 力	200φ×558m3/h							
		付属品	ステンレス製ウェザーカバー（防鳥網付）							
○ 水槽部パネルタンクは工場溶接可とする。 ○ ポンプ室内外給水・消火管には自己制御型凍結防止ヒーターを直線設置する。										



甲府市立城南中学校  
甲府市大里町2590番地1

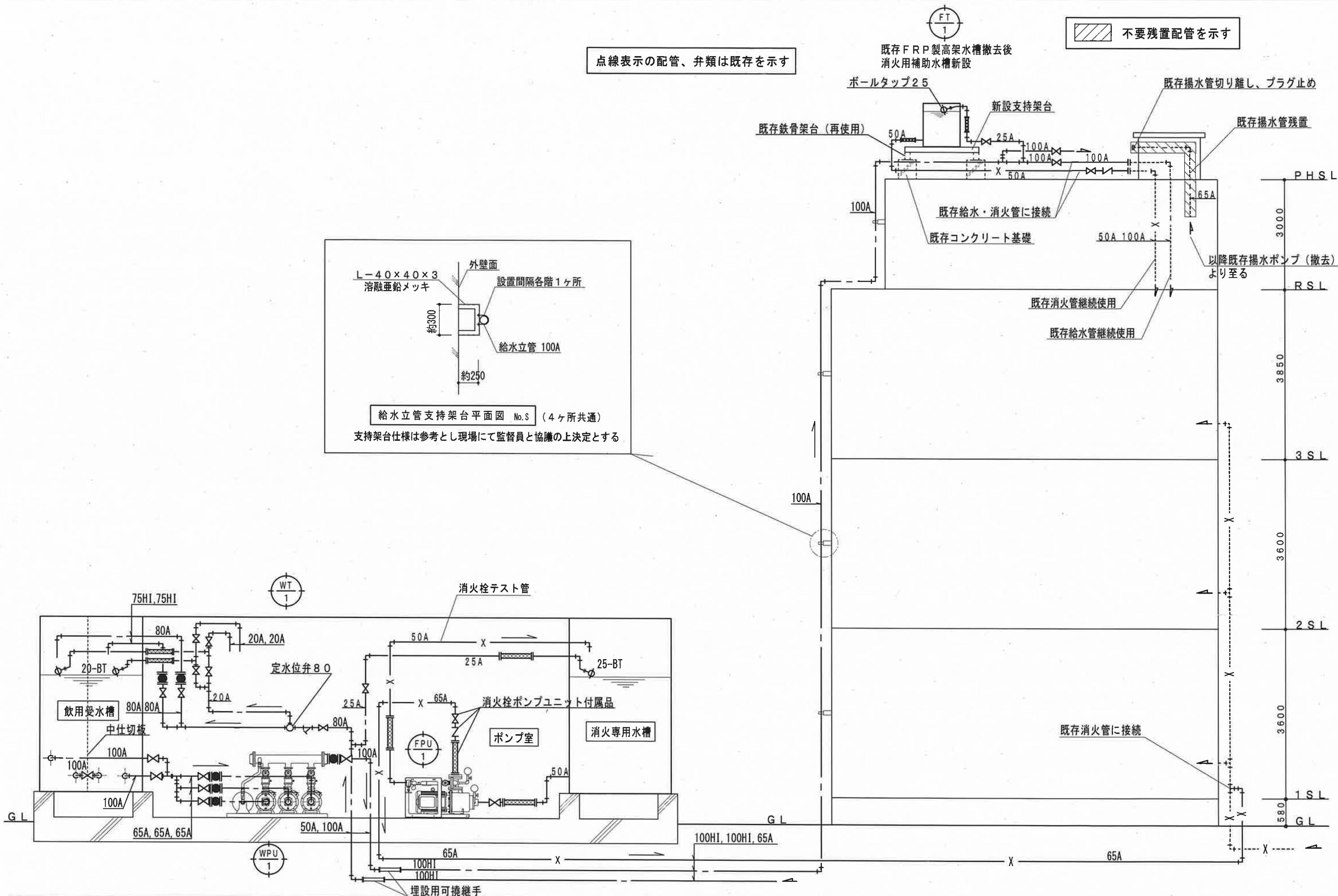


既存飲用受水槽+ポンプ室  
新設飲用・消火用水槽+ポンプ室

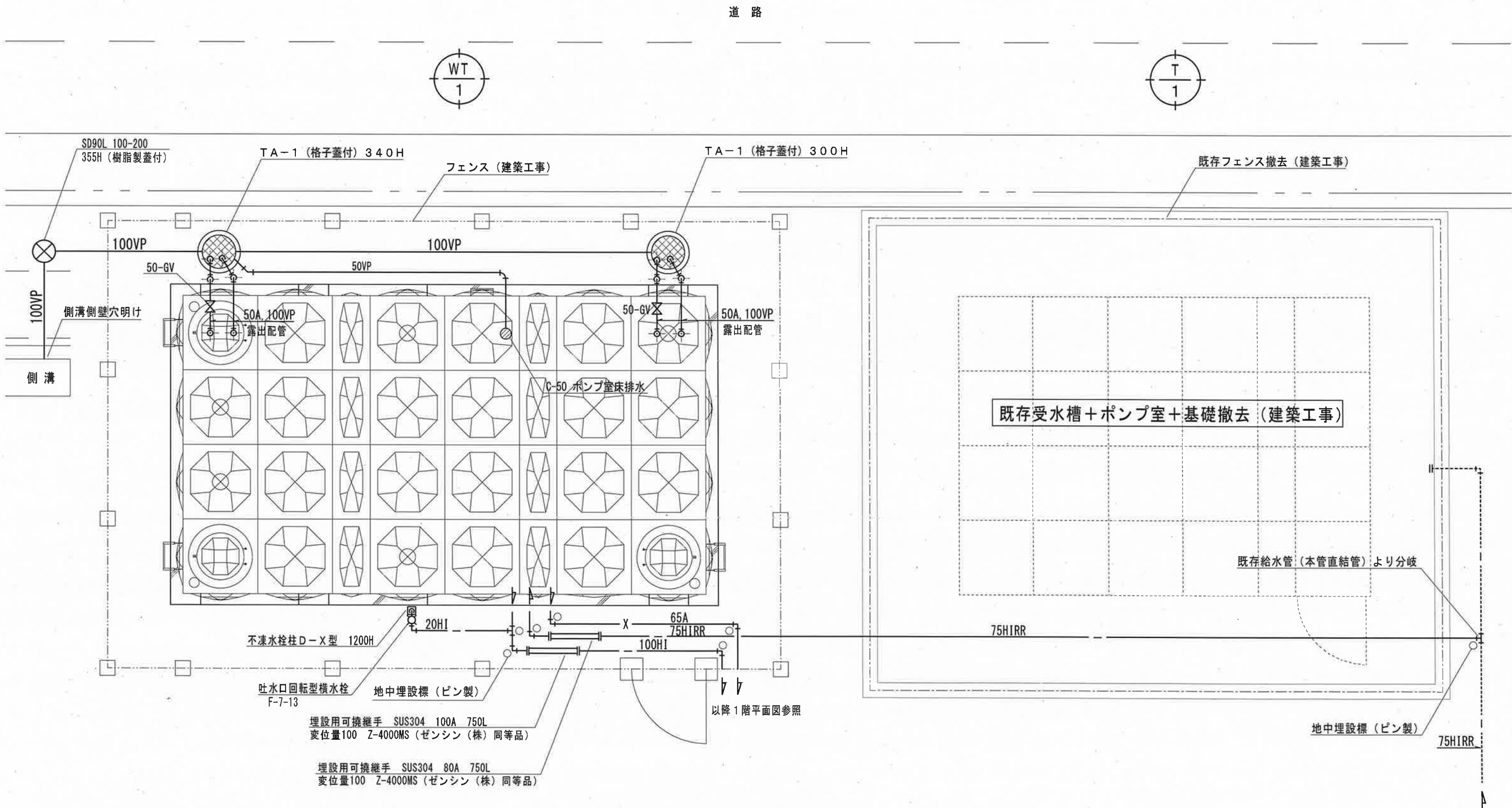


工事名称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023. 6	図面名称 案内図・配置図	縮尺 1:1000	図面番号 M-05
------	--------------	-------------------------------------	---	------------------	-----------------	--------------	--------------





工事名称 城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023. 6	図面名称 給水・消火設備系統図	縮尺 No. S	図面番号 M-06
----------------------	-------------------------------------	---	------------------	--------------------	-------------	--------------



工事名称

城南中学校受水槽更新工事

Yoshino・S Desing Office  
吉野聡建築設計室

山梨県 甲府市 徳行3-3-25  
TEL: 055-222-6644  
FAX: 055-222-6100  
http://sekkei-y.com  
yao@ruby.plala.or.jp

設計年月日

2023. 6

図面名称

受水槽廻り配管平面図

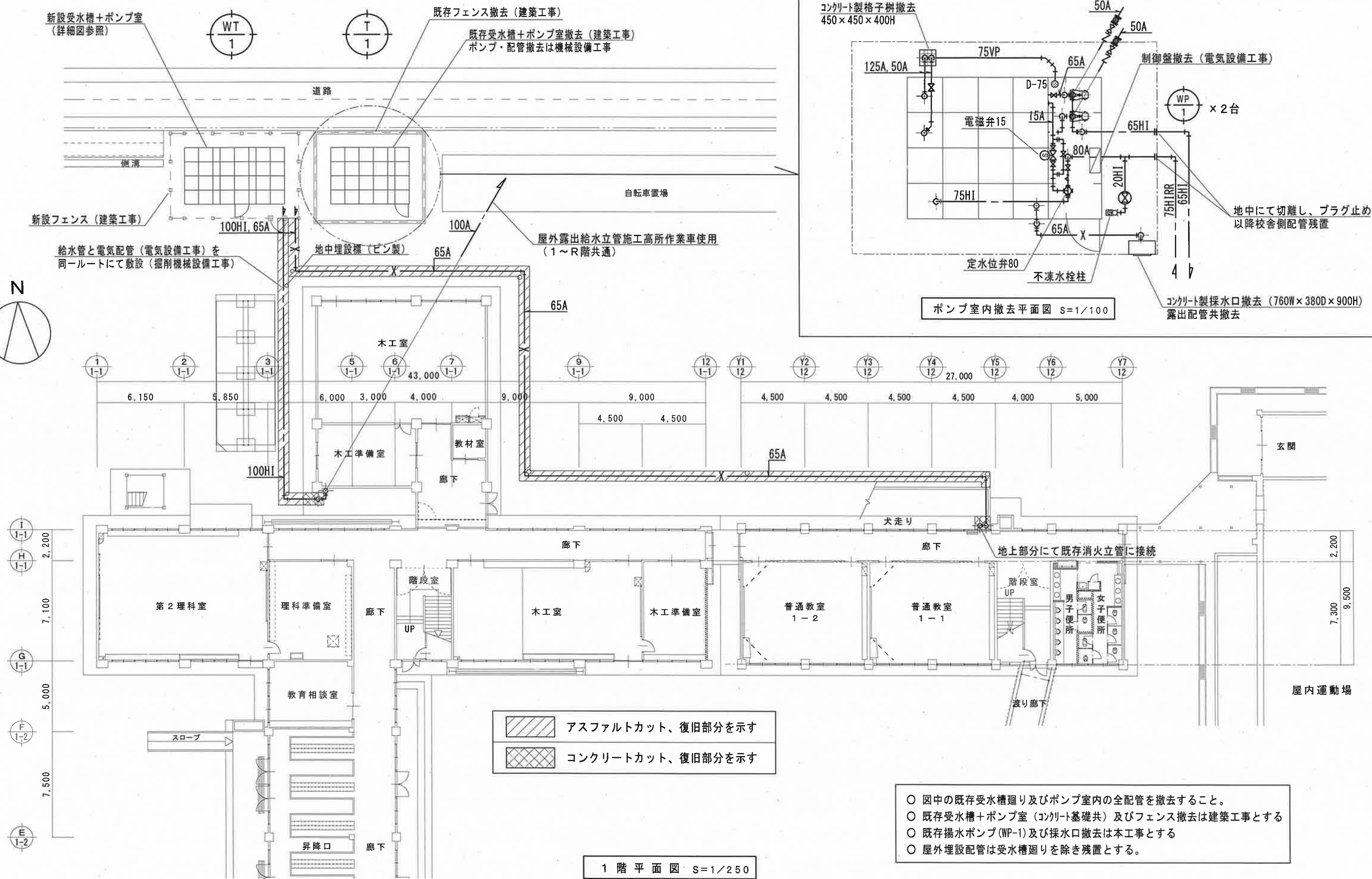
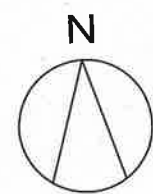
縮尺

1 : 50

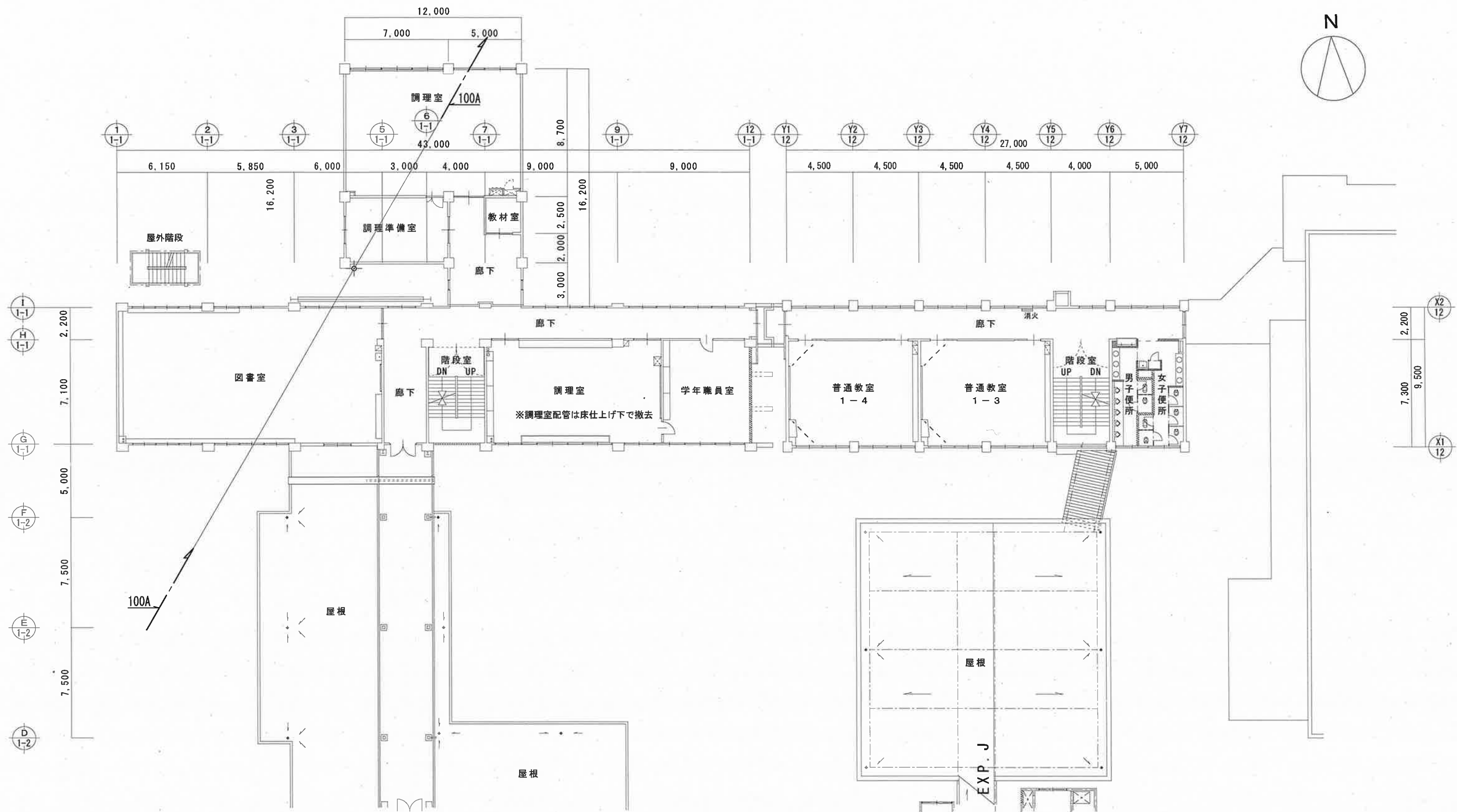
図面番号

M-07



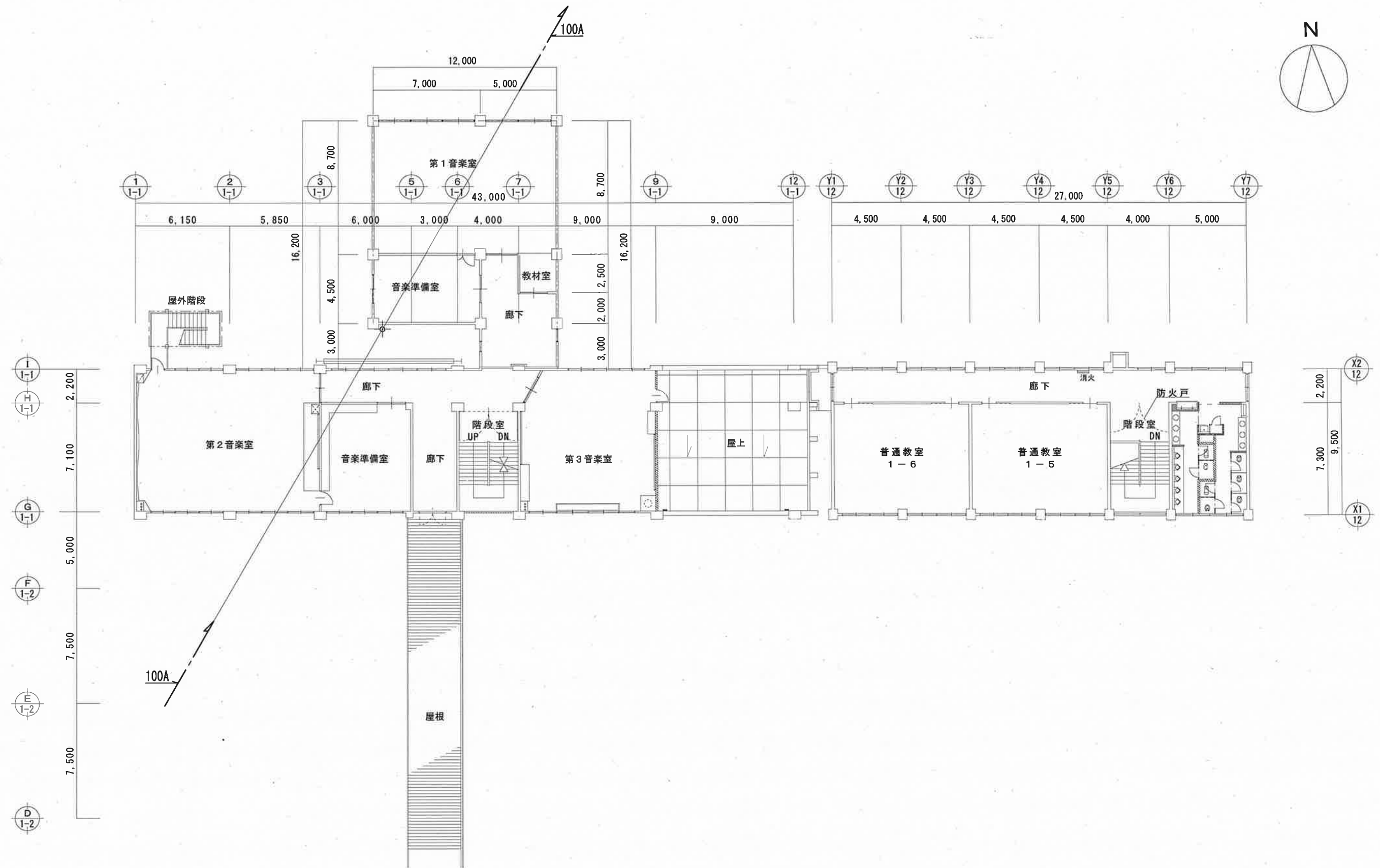


工事名称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図面名称 1 階 平 面 図	縮 尺 1 : 250	図面番号 M-09
------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	-------------------	----------------	--------------



2 階 平 面 図 S=1/250

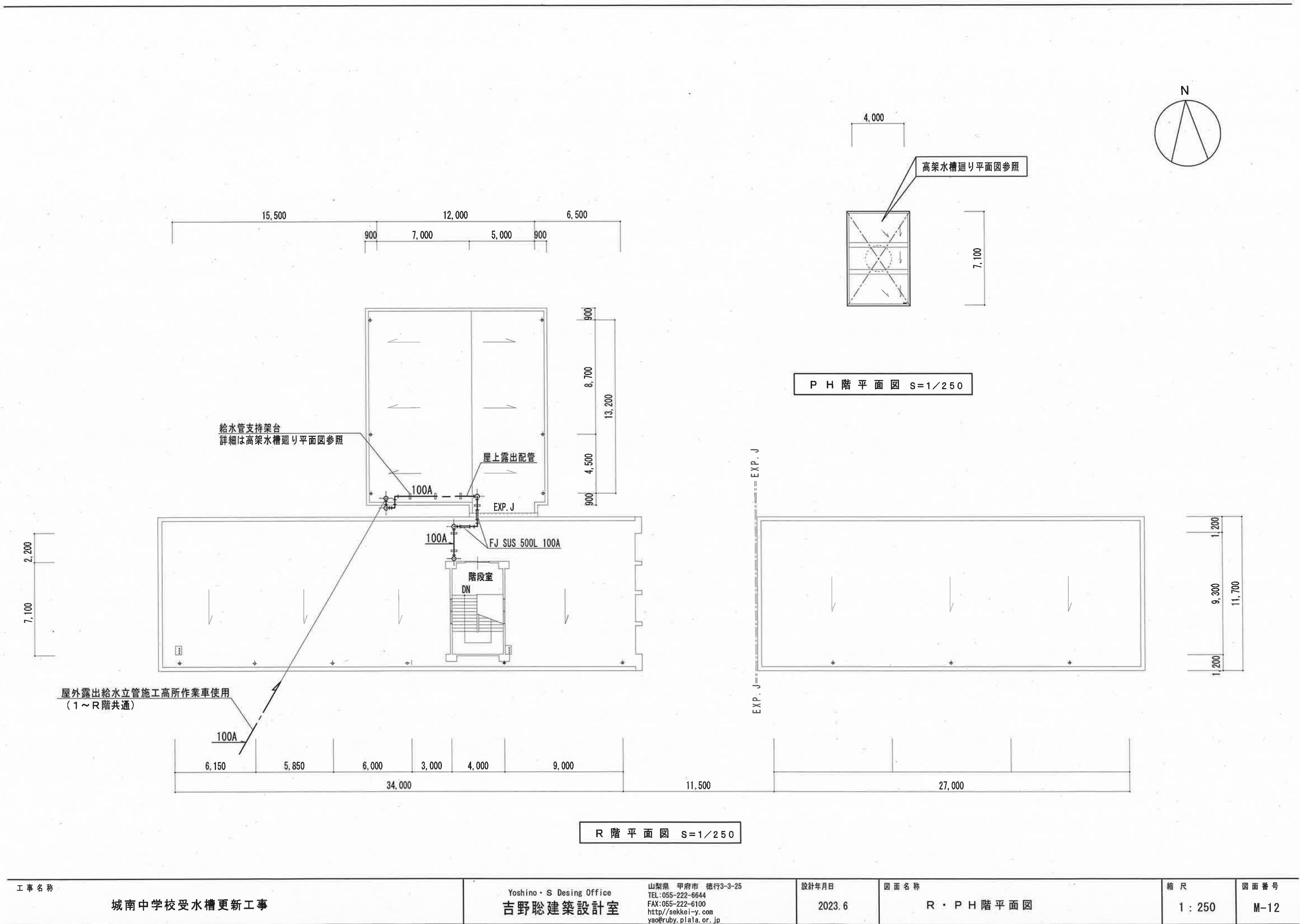
工事名称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図面名称 2 階 平 面 図	縮尺 1:250	図面番号 M-10
------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	-------------------	-------------	--------------



3 階 平 面 図 S=1/250

工 事 名 称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6844 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図 面 名 称 3 階 平 面 図	縮 尺 1 : 250	図 面 番 号 M-11
---------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	----------------------	----------------	-----------------





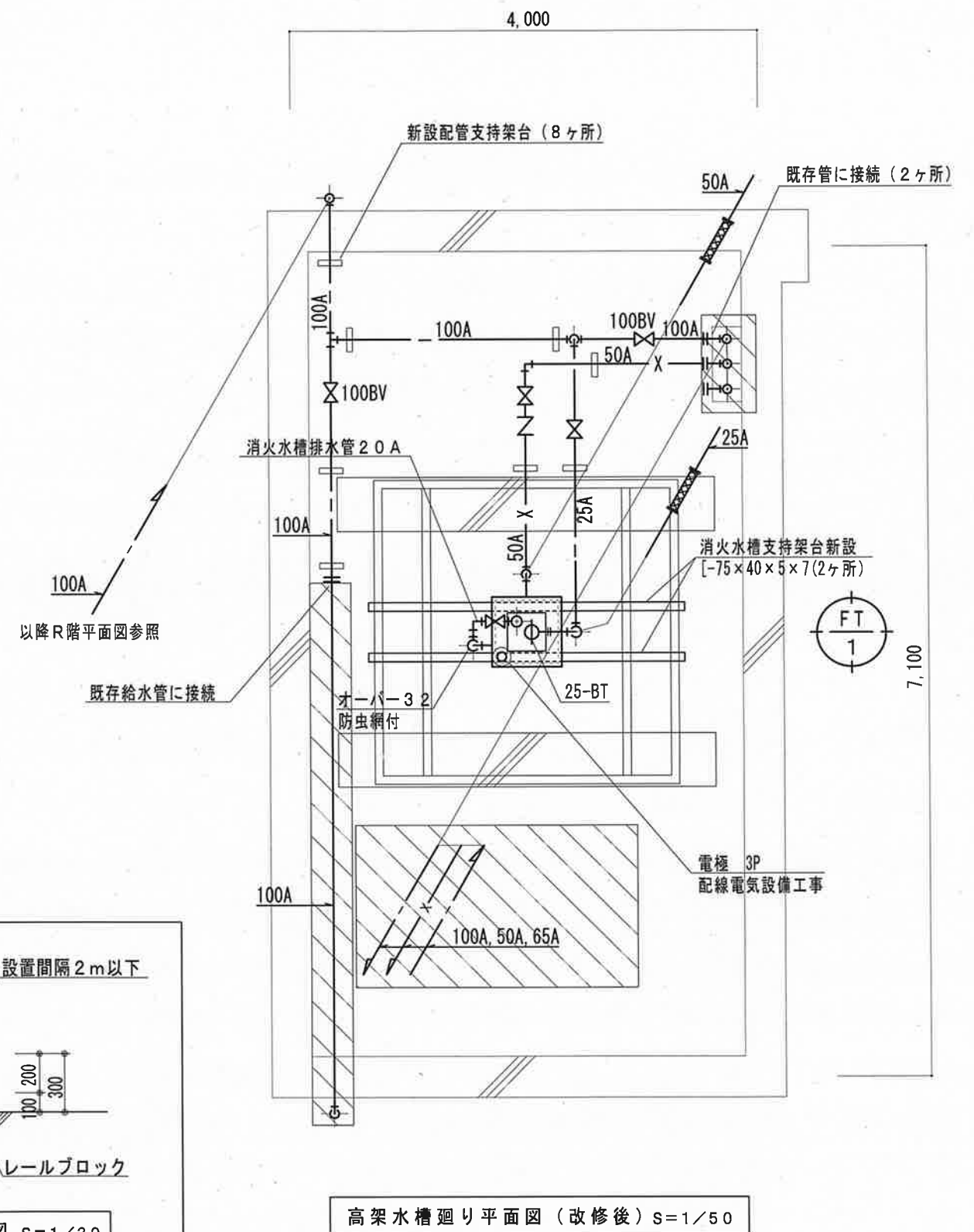
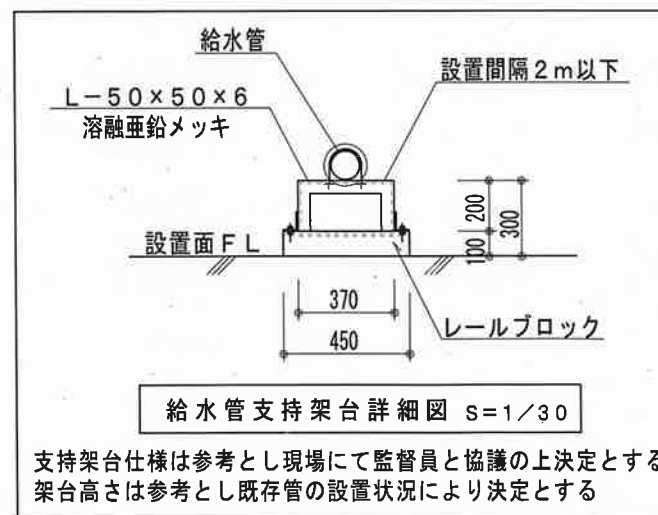
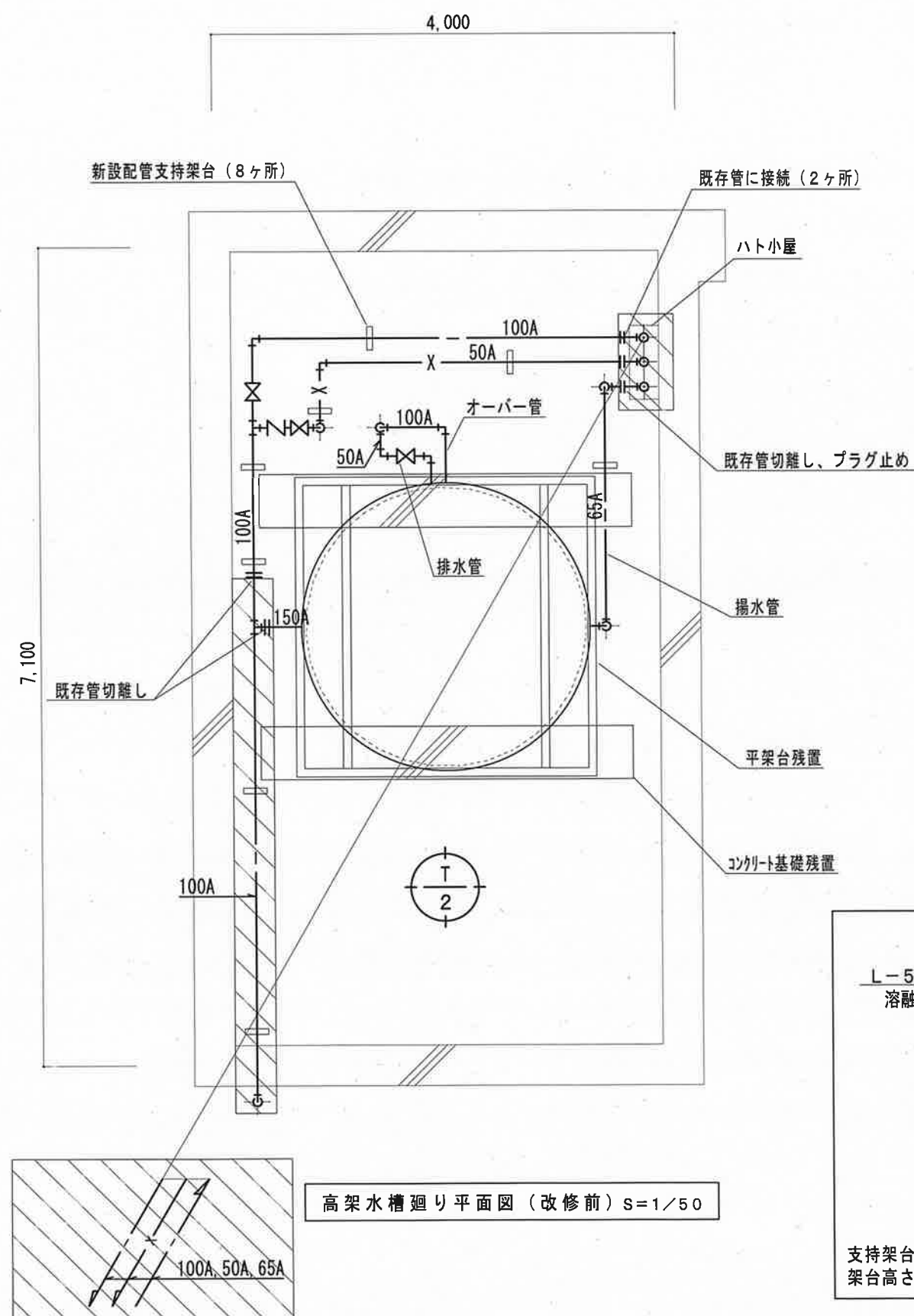
工事名称	城南中学校受水槽更新工事	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図面名称 R・P H 階平面図	縮尺 1:250	図面番号 M-12
------	--------------	---	-----------------	--------------------	-------------	--------------

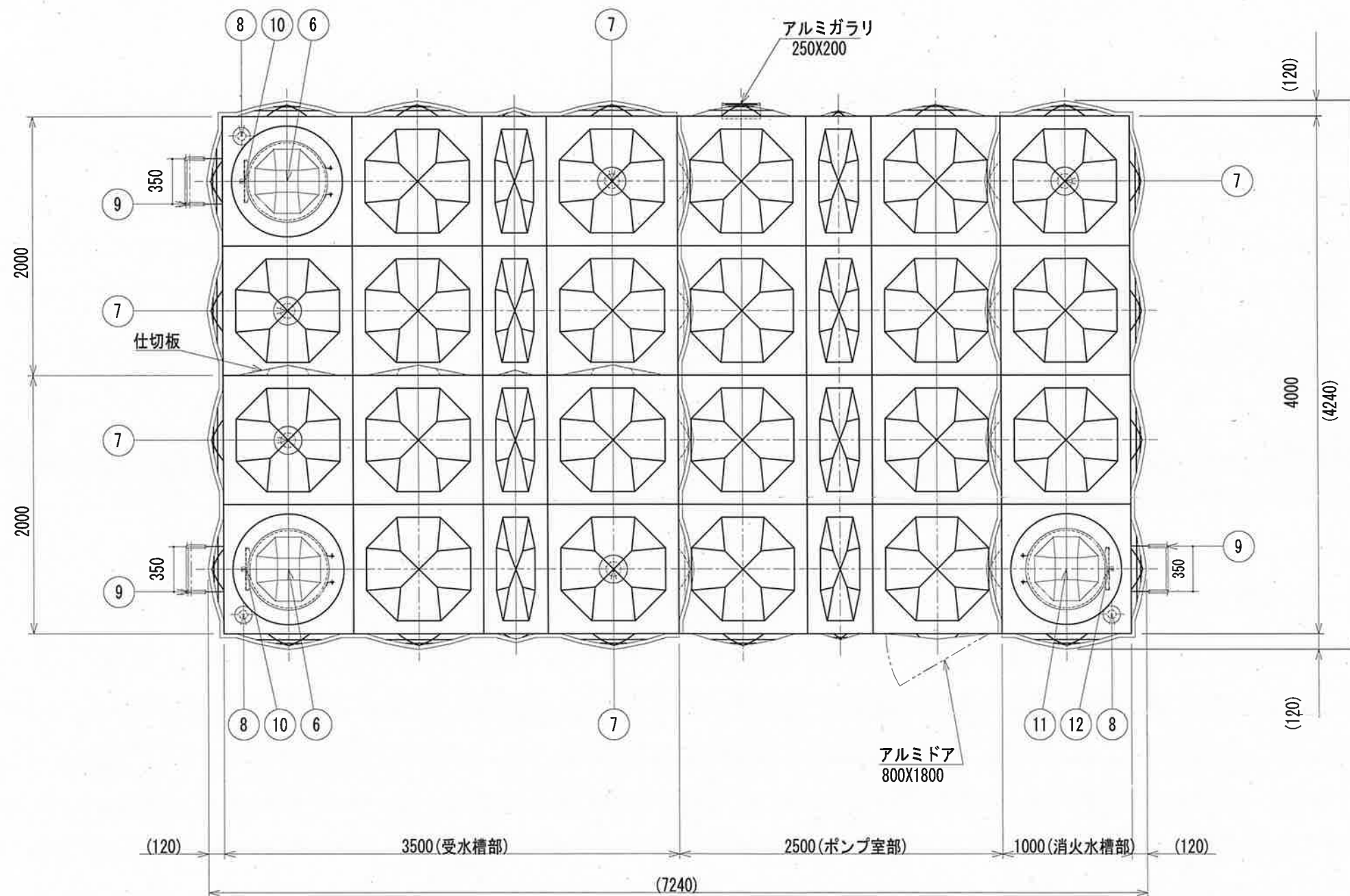


斜線部分内の配管は既存継続使用（又は残置）を示す  
斜線部分範囲外の配管は全て撤去とする

撤去高架水槽仕様（撤去は建築工事）  
FRP製保温型 有効貯水量約7.5m<sup>3</sup>  
外形寸法 2000φ×1900H  
既存平架台及びコンクリート基礎残置

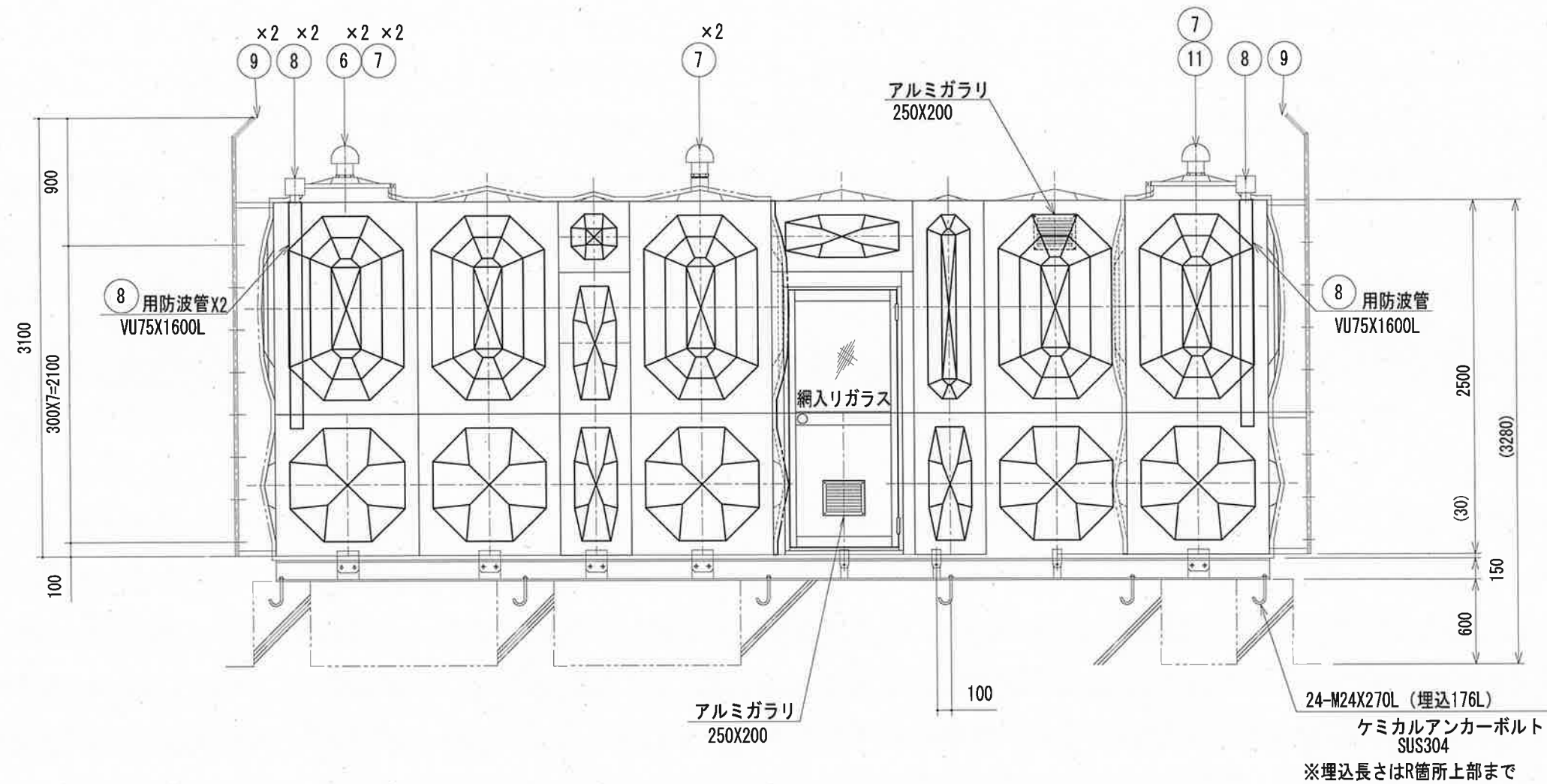
斜線部分内の配管は既存継続使用（又は残置）を示す  
斜線部分範囲外の配管は全て新設とする



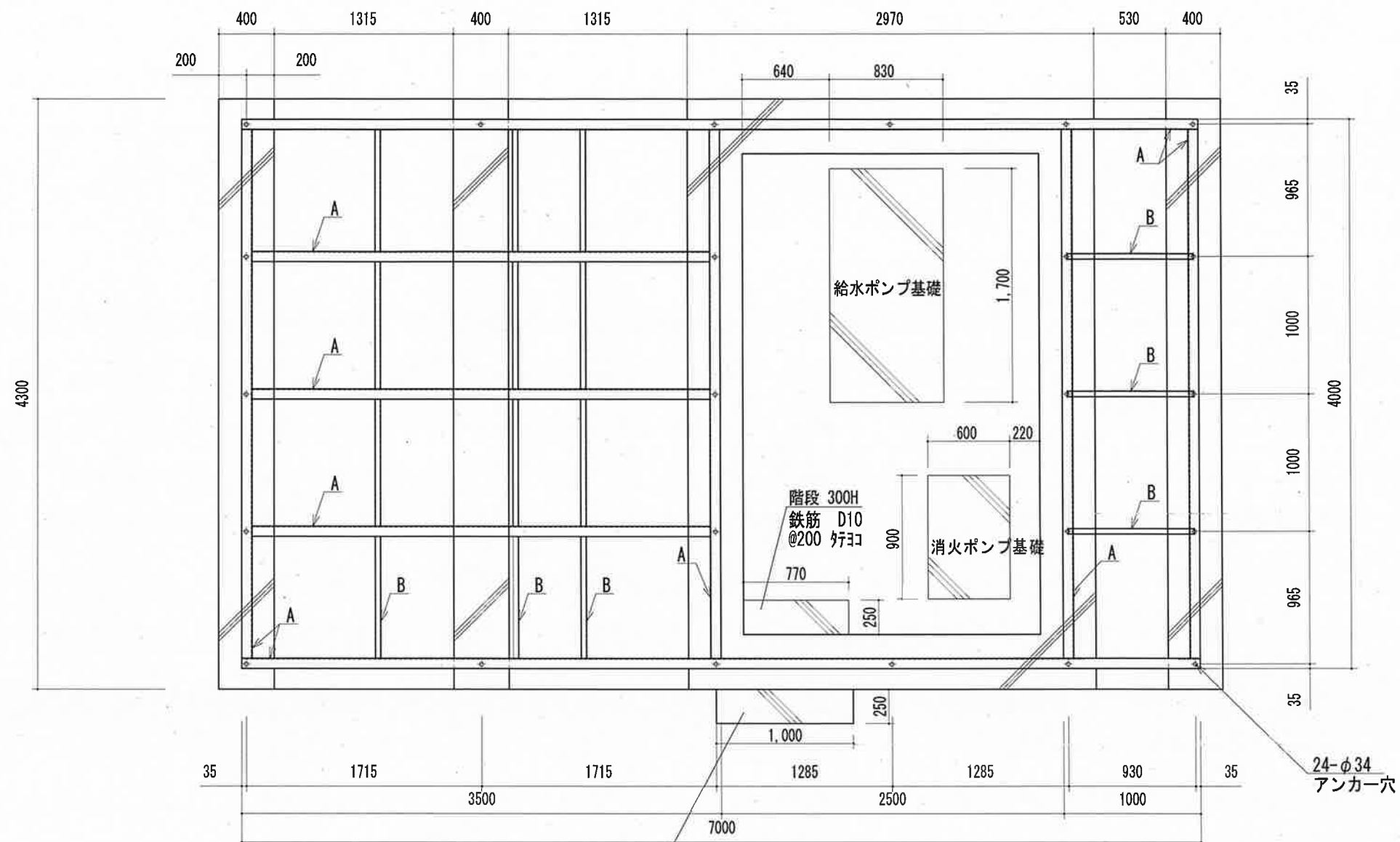


# 溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様

設計水平震度		Kh = 1.5				
寸 法		4000 (2000+2000) X7000 (3500+P2500+1000) X2500				
本体	受水槽	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	SUS329J4L
		側板1段	t2.0	底板 (プレス+平板)	t2.0	SUS444
	ポンプ室	ポンプ室 t2.0				SUS444
	消火水槽	天井板	t1.5	側板2段	t1.5	
		側板1段	t2.0	底板 (プレス)	t2.0	SUS444
その他	現地組立型					
受台 (架台)		A材 C150×75×6.5 B材 C75×40×5 SS400				
仕 上	ステンレス溶接部は酸洗い不動態化処理					
	SS部は溶融亜鉛メッキ					
	防眩仕様 (底板除く)					
保 温	発泡ポリスチレン 30m/m (ポンプ室内受水槽側仕切面のみ)					
外 装	t0.8アルミパネル					
付 属 品	通気、電極カバー、ケミカルアンカーボルト					
重 量	本体		2500 k g	受台 (架台)	960 k g	
品番	名 称	材 質	寸 法	個数	備 考	
12	内はしご	SUS444	330X300	1	L30X30	
11	マンホール	SUS444	φ 600	1	施錠式	
10	内はしご	SUS329J4L	330X300	2	L30X30	
9	外はしご	STKM	350X300	3	φ 25.4・RB16	
8	電極取付用座	SUS316	50A	3	内外ソケット 防波管付	
7	通 気 口	ABS	100A	5	防虫網付	
6	マンホール	SUS329J4L	φ 600	2	施錠式 二重蓋 (樹脂)	
5	排 水 口	SUS304				
4	溢 水 口	SUS316				
3	給 水 口	SUS304				
2	揚 水 口	SUS316				
1	本 体	SUS				

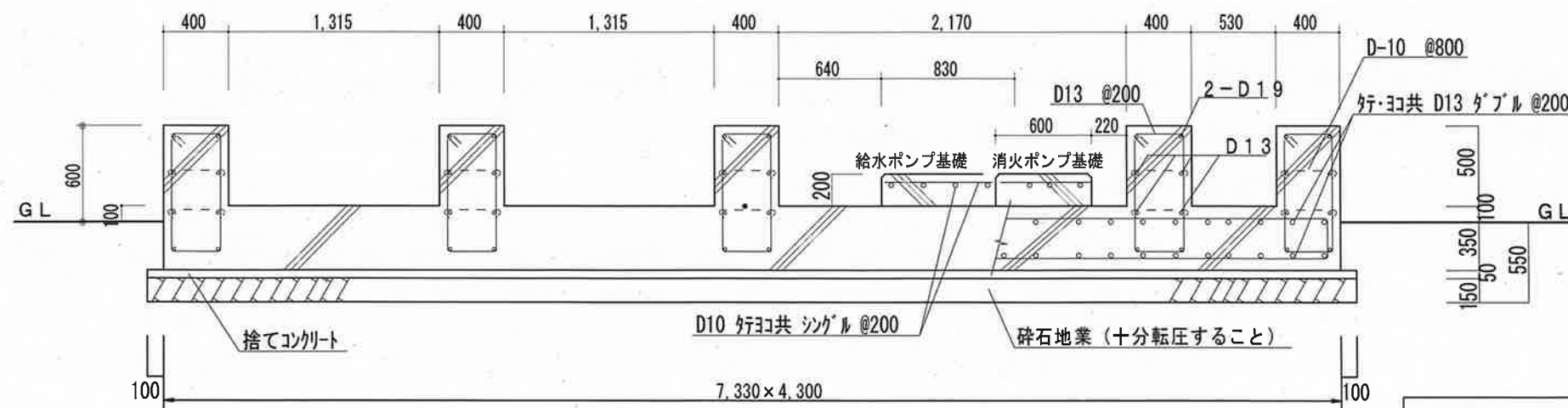


工事名称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図面名称 受水槽+ポンプ室立面図(参考図)	縮尺 1:40	図面番号 M-15
------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	--------------------------	------------	--------------



階段 400H (GL-100~GL+300)  
鉄筋 D10 @200 打コ

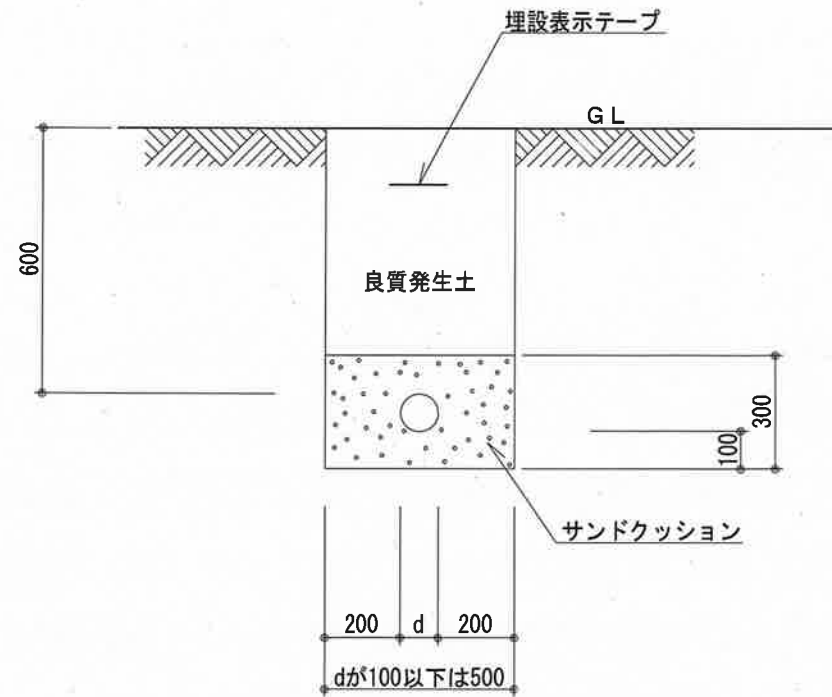
A材 : C-150×75×6.5  
B材 : C-75×40×5



コンクリート強度 FC-21 捨てコンクリート FC-18  
十分転圧を行い、長期許容支持力度50KN/m2以上を確保すること

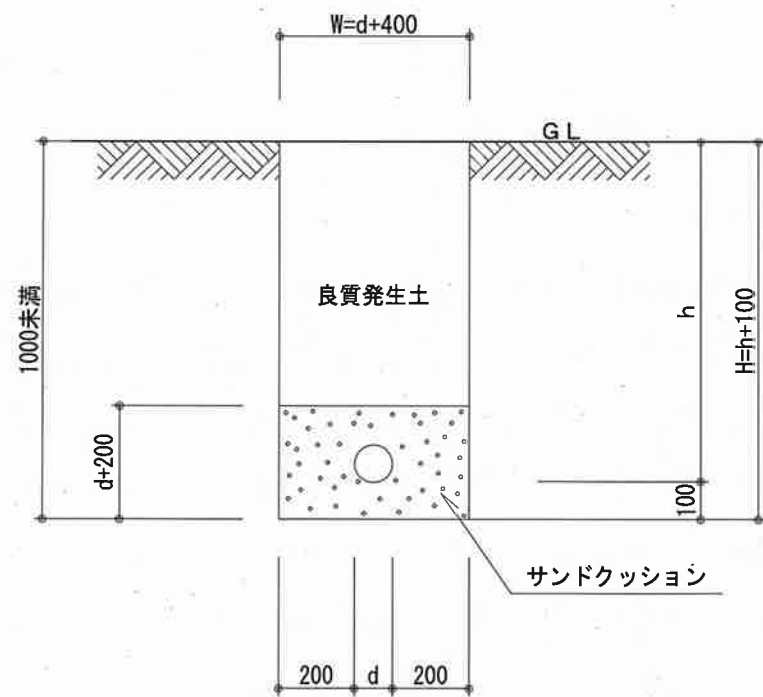
工事名称	城南中学校受水槽更新工事	Yoshino・S Desing Office 吉野聡建築設計室	山梨県 甲府市 徳行3-3-25 TEL:055-222-6644 FAX:055-222-6100 http://sekkei-y.com yao@ruby.plala.or.jp	設計年月日 2023.6	図面名称 受水槽+ポンプ室平架台・基礎平面図 (参考図)	縮尺 1:40	図面番号 M-16
------	--------------	-------------------------------------	---	-----------------	---------------------------------	------------	--------------





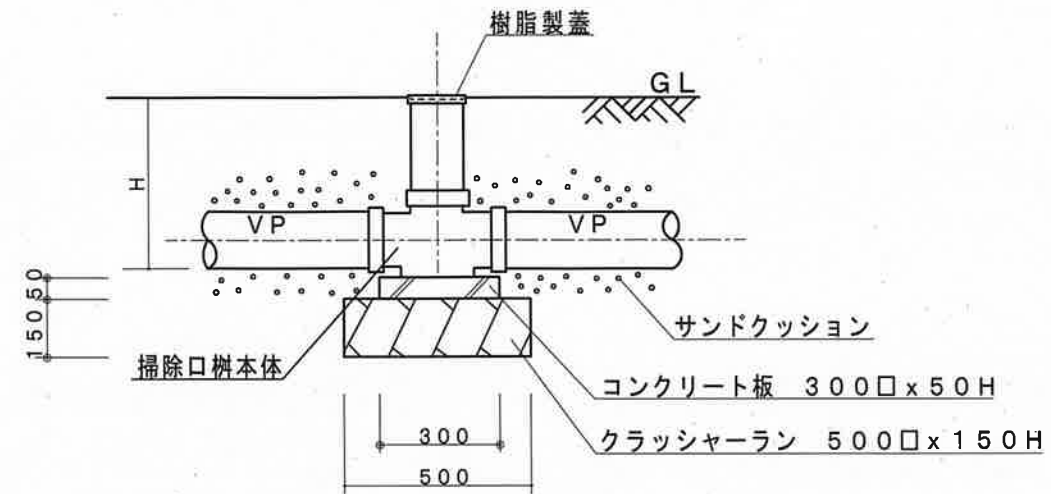
屋外給水管・消火管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



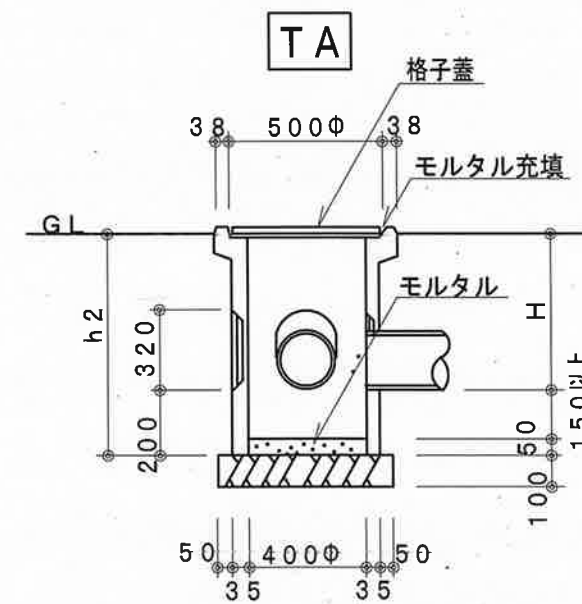
屋外排水管埋設断面図

※掘削幅は参考とする。



掃除口樹と排水管の接続には、VP変換ソケットを用いる。

塩ビ樹詳細図



コンクリート製ため樹詳細図

た め 記	樹 号	深 さ H	マンホールカバー 防臭ふた	備 考
TA	1A	H ≤ 400	MHAR-400	側塊は住宅、都市整備公団形とし、遠心力方法による鉄筋入りコンクリートとする。
TA	1B		MHBR-400	h1=480
TA	2A	400 < H ≤ 500	MHAR-400	h2=630
TA	2B		MHBR-400	h1=580
TA	3A	500 < H ≤ 600	MHAR-400	h2=730
TA	3B		MHBR-400	h1=680
				h2=830

(注) MHARは安全荷重1500kgとし6000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。

(注) MHBRは安全荷重 500kgとし2000kg以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。